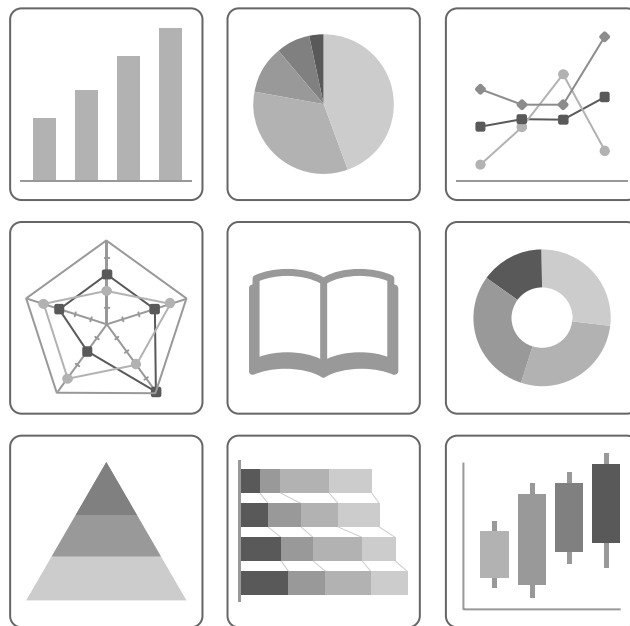


清水町
地域福祉に関するアンケート調査
調査結果報告書



令和8年3月

清水町

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
町民	2
(1)	回答者属性	2
(2)	暮らしの中で感じている生活課題などについて	6
(3)	福祉サービスについて	12
(4)	地域での支え合い・助け合いについて	35
(5)	災害・防災について	42
(6)	生活に困った時について	49
(7)	支援が必要な人について	60
(8)	これからの清水町の福祉について	64

I 調査の概要

1 調査の目的

「第5次清水町地域福祉計画」「第7次清水町地域福祉活動計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

清水町在住の18歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和7年11月11日から令和7年11月25日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
町民	1,000通	414通	41.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

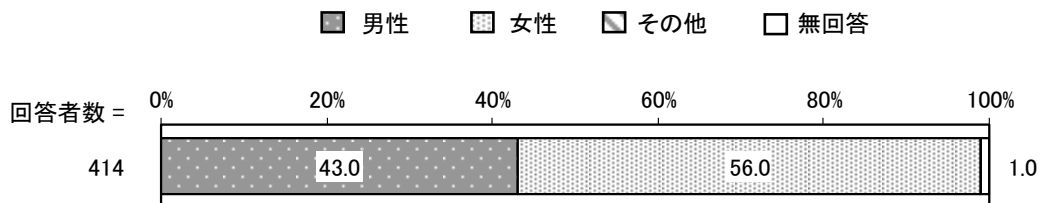
II 調査結果

町民

(1) 回答者属性

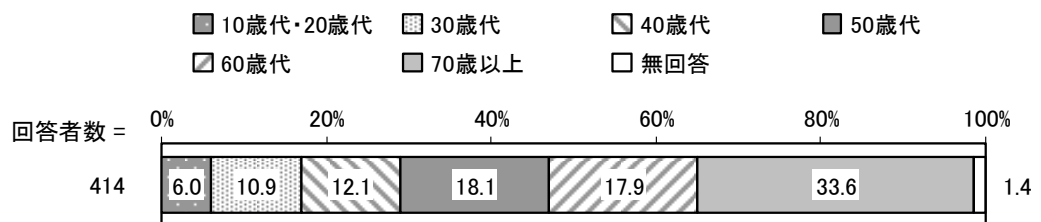
問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

「男性」の割合が43.0%、「女性」の割合が56.0%となっています。



問2 年齢はおいくつですか。令和7年4月1日現在でお答えください。

「70歳以上」の割合が33.6%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が18.1%、「60歳代」の割合が17.9%となっています。

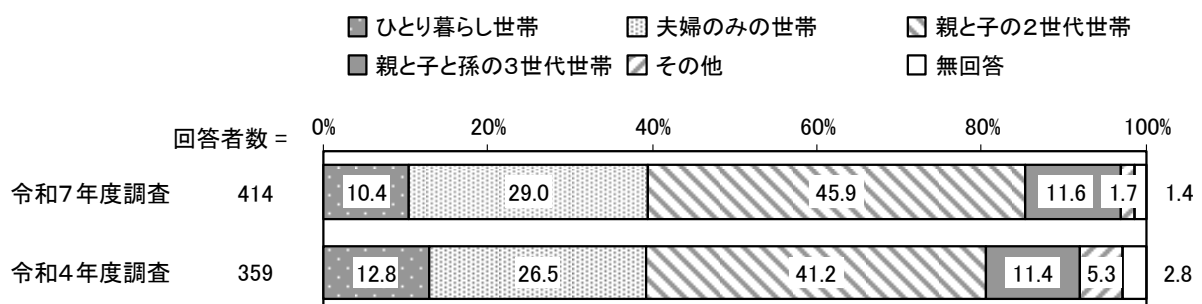


問3 あなたの家族構成を教えてください。(○は1つ)

「親と子の2世代世帯」の割合が45.9%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が29.0%、「親と子と孫の3世代世帯」の割合が11.6%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。

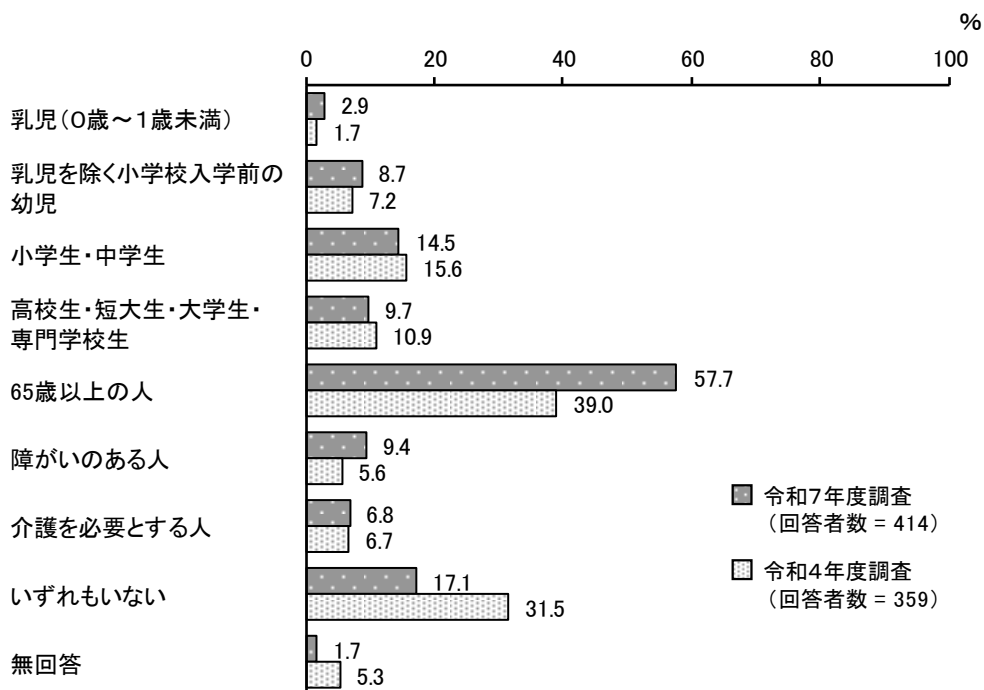


問4 あなた自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「65歳以上の人」の割合が57.7%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が17.1%、「小学生・中学生」の割合が14.5%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「65歳以上の人」の割合が増加しています。一方、「いずれもない」の割合が減少しています。

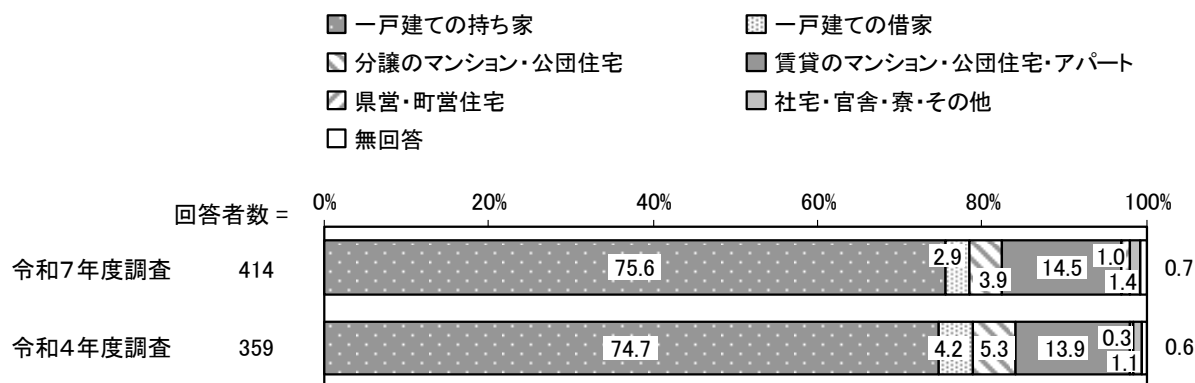


問5 あなたのお住まいの形態は次のどれですか。(〇は1つ)

「一戸建ての持ち家」の割合が75.6%と最も高く、次いで「賃貸のマンション・公団住宅・アパート」の割合が14.5%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

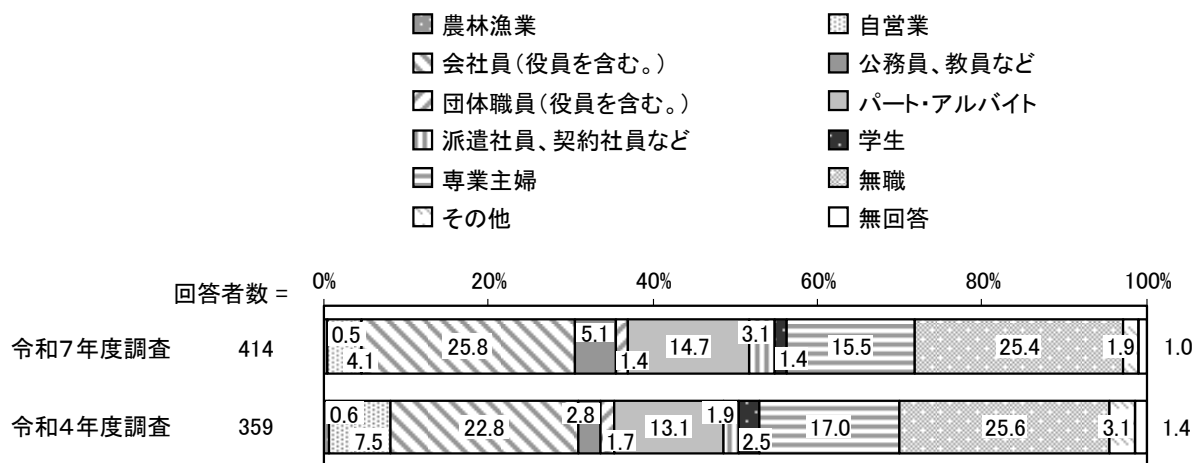


問6 あなたのご職業は次のどれですか。(〇は1つ)

「会社員(役員を含む。)」の割合が25.8%と最も高く、次いで「無職」の割合が25.4%、「専業主婦」の割合が15.5%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

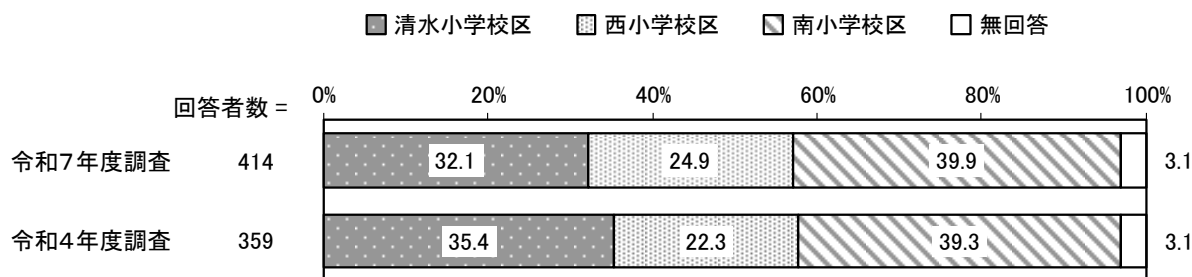


問7 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

「南小学校区」の割合が39.9%と最も高く、次いで「清水小学校区」の割合が32.1%、「西小学校区」の割合が24.9%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

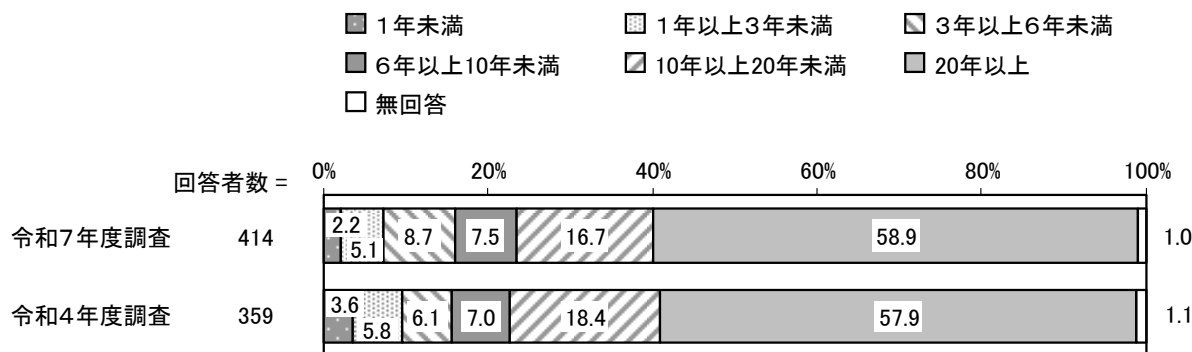


問8 あなたは、問7で回答した地区に何年住んでいますか。(〇は1つ)

「20年以上」の割合が58.9%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が16.7%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



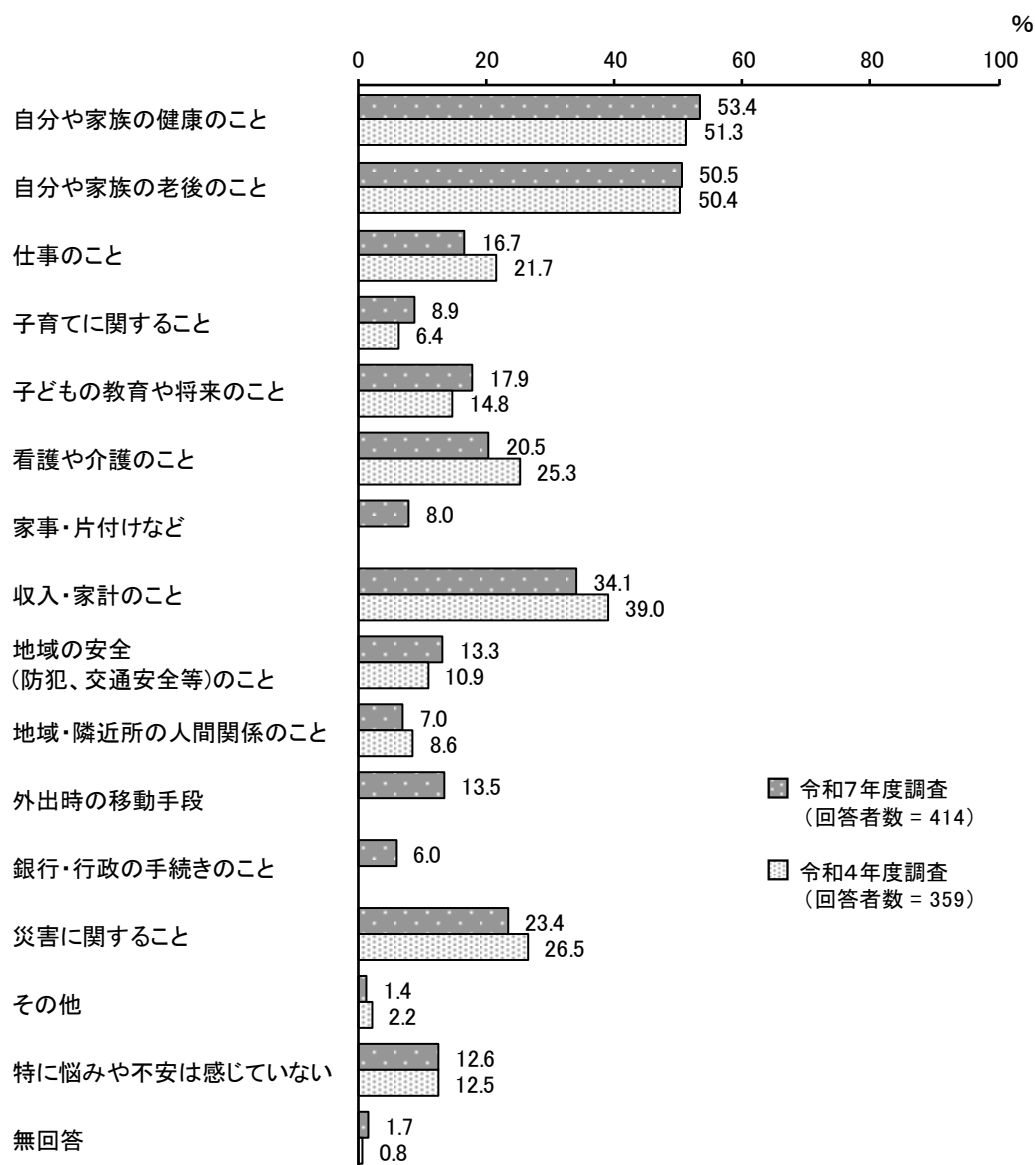
(2) 暮らしの中で感じている生活課題などについて

問9 あなたは、日々の暮らしの中で、不安や悩みを感じていますか。困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「自分や家族の健康のこと」の割合が53.4%と最も高く、次いで「自分や家族の老後のこと」の割合が50.5%、「収入・家計のこと」の割合が34.1%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「仕事のこと」の割合が減少しています。



※ 令和4年度の調査では、「家事・片付けなど」「外出時の移動手段」「銀行・行政の手続きのこと」の選択肢はありませんでした。

※ 「収入・家計のこと」は、令和4年度の調査では「家計や経済的なこと」で調査をしています。

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で「仕事のこと」の割合が、30歳代、40歳代で「子どもの教育や将来のこと」「収入・家計のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

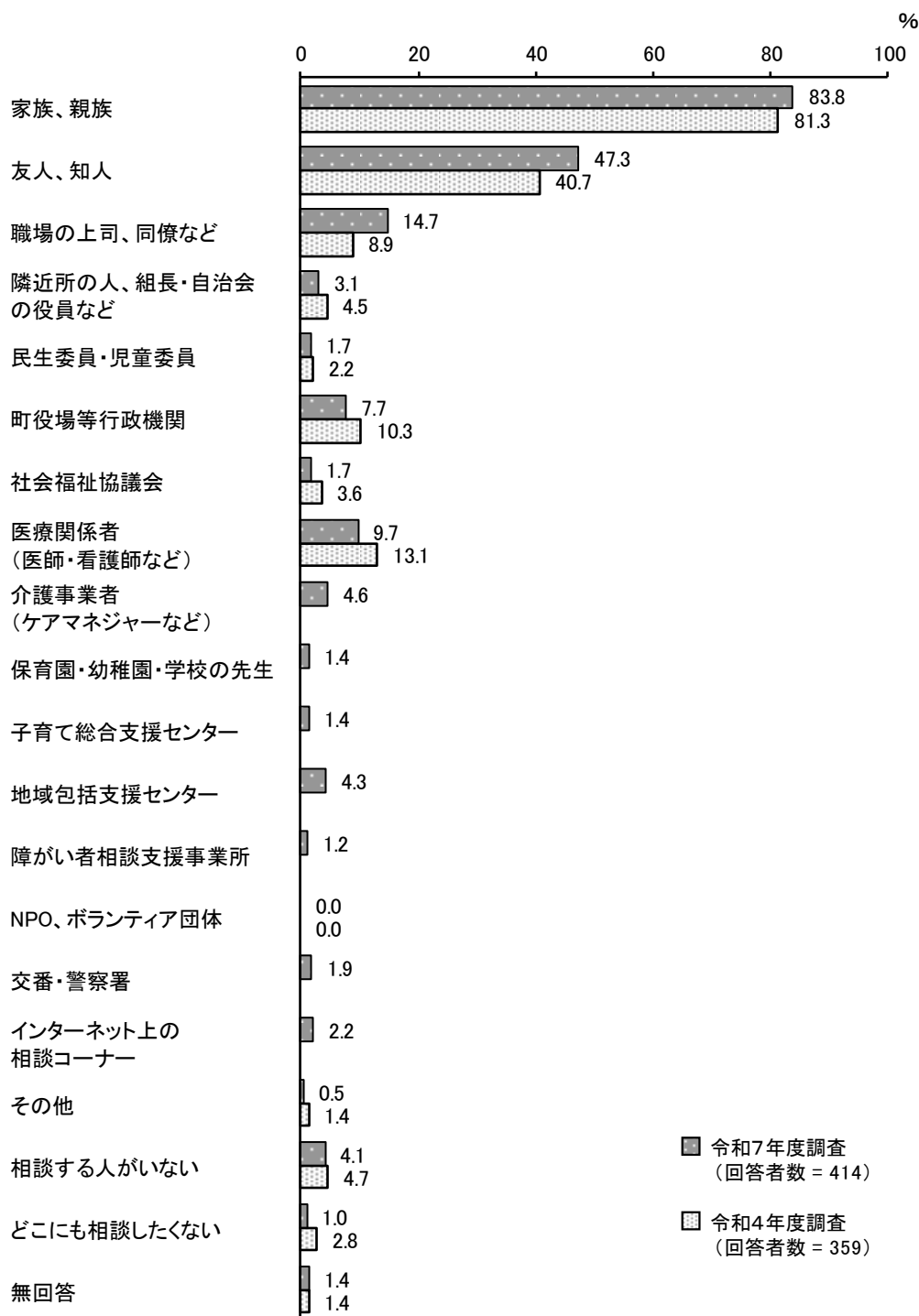
区分	回答者数(件)	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	仕事のこと	子育てに関すること	子どもの教育や将来のこと	看護や介護のこと	家事・片付けなど	収入・家計のこと	地域の安全(防犯、交通安全等)のこと	地域・隣近所の人間関係のこと	外出時の移動手段	銀行・行政の手続きのこと	災害に関すること	その他	特に悩みや不安は感じていない	無回答
10歳代・20歳代	25	32.0	16.0	40.0	28.0	24.0	4.0	12.0	44.0	12.0	—	24.0	8.0	8.0	—	20.0	—
30歳代	45	46.7	31.1	24.4	26.7	44.4	—	13.3	46.7	22.2	4.4	11.1	8.9	17.8	2.2	11.1	—
40歳代	50	50.0	64.0	24.0	22.0	46.0	14.0	12.0	56.0	16.0	4.0	10.0	2.0	30.0	—	10.0	4.0
50歳代	75	62.7	64.0	22.7	5.3	18.7	32.0	2.7	34.7	14.7	8.0	9.3	2.7	30.7	—	9.3	—
60歳代	74	58.1	66.2	21.6	4.1	12.2	29.7	6.8	39.2	14.9	14.9	8.1	8.1	23.0	1.4	9.5	—
70歳以上	139	54.0	43.2	2.2	—	1.4	22.3	7.2	18.7	8.6	5.0	19.4	7.2	23.0	2.9	16.5	1.4

問10 あなたは、日々の暮らしの中で、不安や悩みを抱えたとき、どこに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「家族、親族」の割合が83.8%と最も高く、次いで「友人、知人」の割合が47.3%、「職場の上
司、同僚など」の割合が14.7%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「友人、知人」「職場の上司、同僚など」の割合が増加していま
す。



※ 令和4年度の調査では、「介護事業者」「保育園・幼稚園・学校の先生」「子育て総合支援センター」「地域包括支援センター」「障がい者相談支援事業所」「交番・警察署」「インターネット上の相談コーナー」の選択肢はありませんでした。

※ 「医療関係者 (医師・看護師など)」は、令和4年度の調査では「医療機関など」で調査をしています。

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代で「家族、親族」「職場の上司、同僚など」の割合が、30歳代、40歳代で「友人、知人」の割合が高くなっています。また、60歳代で「医療関係者（医師・看護師など）」の割合が、70歳以上で「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。

単位：％

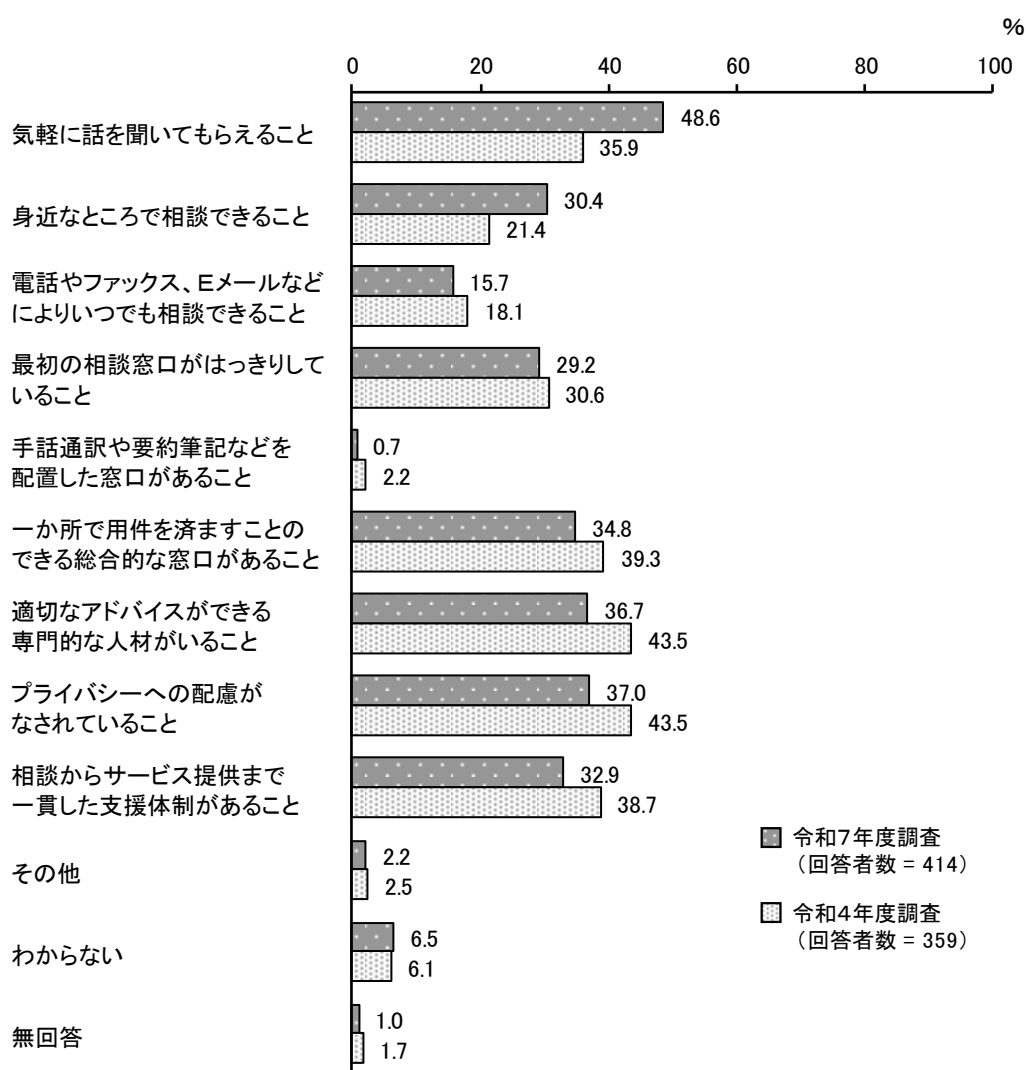
区分	回答者数（件）	家族、親族	友人、知人	職場の上司、同僚など	隣近所の人、組長・自治会の役員など	民生委員・児童委員	町役場等行政機関	社会福祉協議会	医療関係者（医師・看護師など）	介護事業者（ケアマネジャーなど）	保育園・幼稚園・学校の先生	子育て総合支援センター	地域包括支援センター	障がい者相談支援事業所	NPO、ボランティア団体	交番・警察署	インターネット上の相談コーナー	その他	相談する人がいない	どこにも相談したくない	無回答
10歳代・20歳代	25	96.0	56.0	36.0	—	—	4.0	—	—	—	—	4.0	—	—	—	—	4.0	—	—	—	—
30歳代	45	93.3	64.4	28.9	2.2	—	—	—	—	—	4.4	8.9	—	2.2	—	—	—	—	2.2	—	—
40歳代	50	90.0	62.0	28.0	—	—	4.0	—	4.0	2.0	6.0	—	—	4.0	—	—	2.0	—	4.0	—	—
50歳代	75	82.7	48.0	20.0	2.7	1.3	9.3	2.7	9.3	2.7	—	—	1.3	1.3	—	4.0	4.0	—	2.7	4.0	1.3
60歳代	74	87.8	54.1	13.5	6.8	1.4	8.1	2.7	17.6	5.4	1.4	1.4	2.7	—	—	5.4	4.1	1.4	2.7	—	—
70歳以上	139	75.5	33.1	—	3.6	3.6	11.5	2.2	12.9	7.9	—	—	10.8	0.7	—	0.7	0.7	0.7	7.2	0.7	2.2

問11 あなたは、どのような窓口があれば相談しやすいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「気軽に話を聞いてもらえること」の割合が48.6%と最も高く、次いで「プライバシーへの配慮がなされていること」の割合が37.0%、「適切なアドバイスができる専門的な人材がいること」の割合が36.7%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「気軽に話を聞いてもらえること」「身近なところで相談できること」の割合が増加しています。一方、「適切なアドバイスができる専門的な人材がいること」「プライバシーへの配慮がなされていること」「相談からサービス提供まで一貫した支援体制があること」が減少しています。

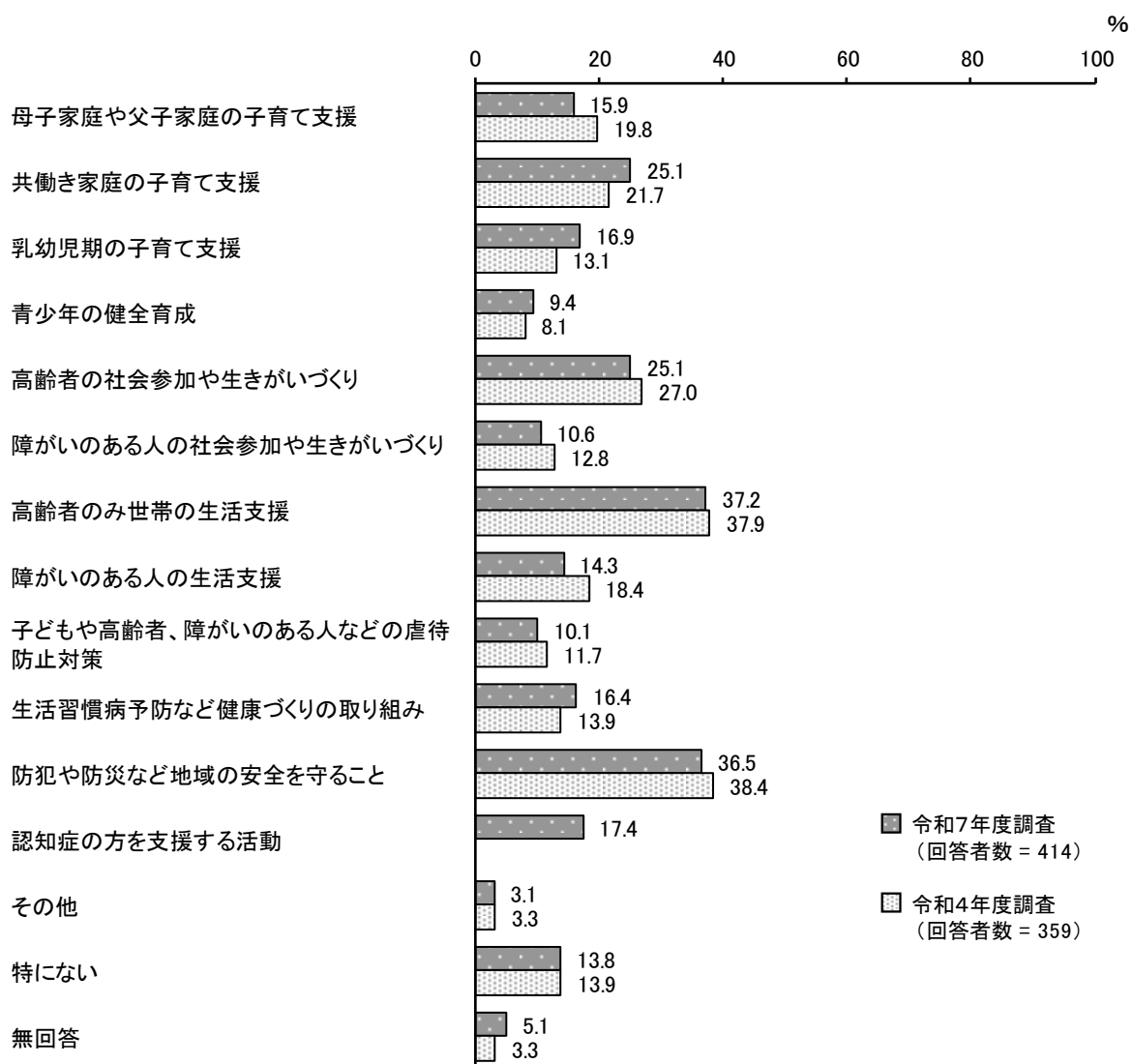


問12 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢者のみ世帯の生活支援」の割合が37.2%と最も高く、次いで「防犯や防災など地域の安全を守ること」の割合が36.5%、「共働き家庭の子育て支援」「高齢者の社会参加や生きがいがづくり」の割合が25.1%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※ 令和4年度の調査では、「認知症の方を支援する活動」の選択肢はありませんでした。

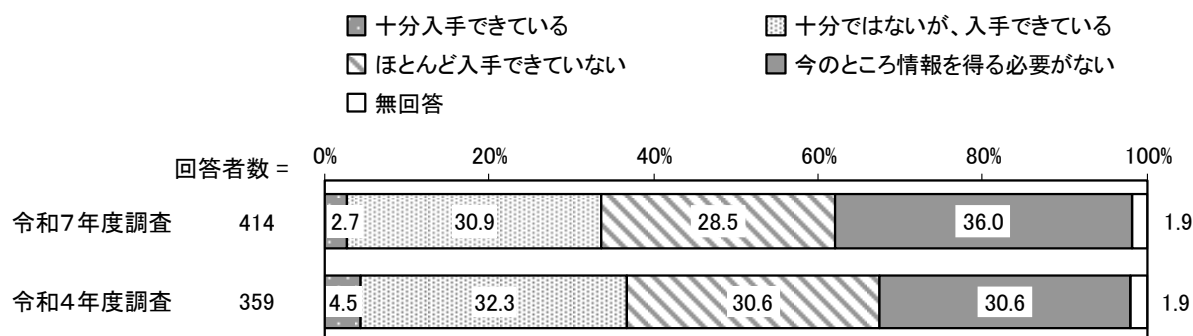
(3) 福祉サービスについて

問13 あなたは、自分に必要な福祉サービスに関する情報を、どの程度入手できていると思われますか。(〇は1つ)

「今のところ情報を得る必要がない」の割合が36.0%と最も高く、次いで「十分ではないが、入手できている」の割合が30.9%、「ほとんど入手できていない」の割合が28.5%となっています。

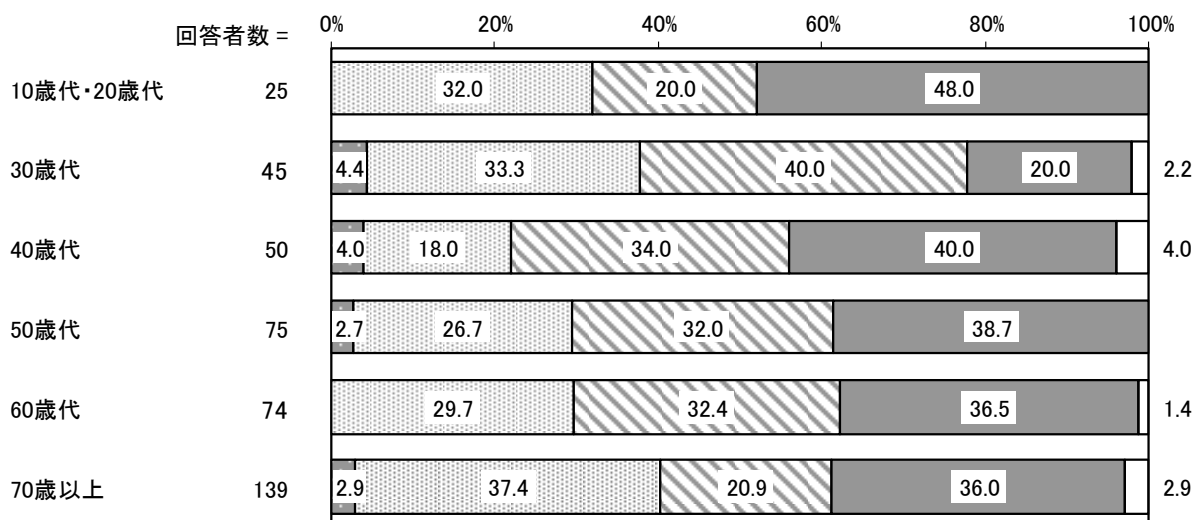
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



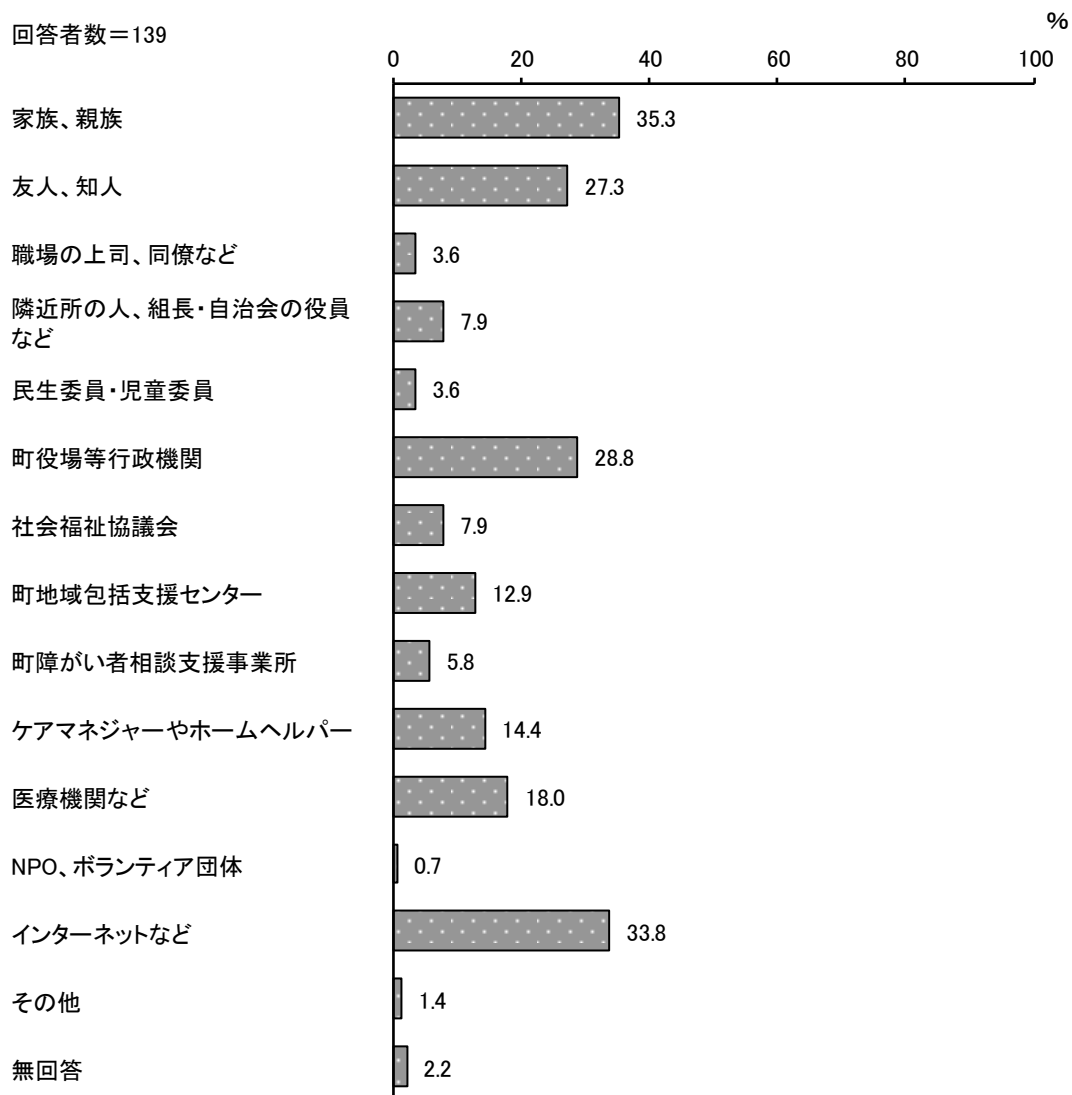
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「十分ではないが、入手出来ている」の割合が、30歳代で「ほとんど入手できていない」の割合が、10歳代・20歳代で「今のところ情報を得る必要がない」の割合が高くなっています。



問13-1 あなたは、行政、福祉施設、NPO、ボランティア団体等が行っている福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「家族、親族」の割合が35.3%と最も高く、次いで「インターネットなど」の割合が33.8%、「町役場等行政機関」の割合が28.8%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「友人、知人」の割合が、40歳代で「町障がい者相談支援事業所」「医療機関など」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代で「インターネットなど」の割合が高くなっています。

単位：%

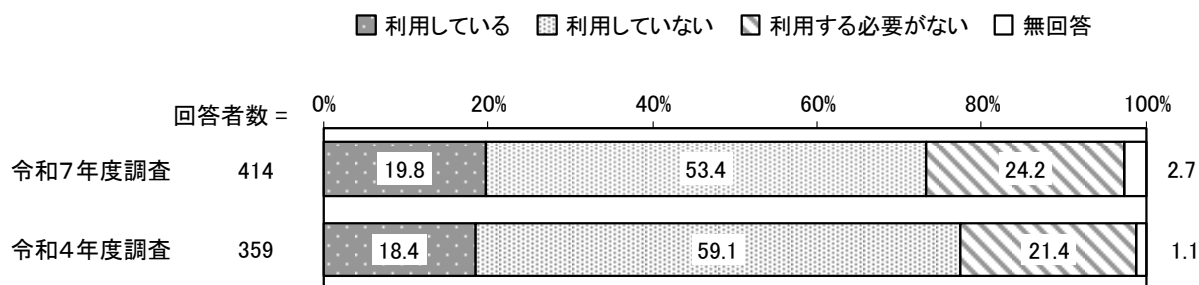
区分	回答者数(件)	家族、親族	友人、知人	職場の上司、同僚など	隣近所の人、組長、自治会の役員など	民生委員・児童委員	町役場等行政機関	社会福祉協議会	町地域包括支援センター	町障がい者相談支援事業所	ケアマネジャーやホームヘルパー	医療機関など	NPO、ボランティア団体	インターネットなど	その他	無回答
10歳代・20歳代	8	50.0	—	12.5	12.5	—	25.0	—	—	—	—	—	—	87.5	—	—
30歳代	17	52.9	41.2	5.9	11.8	—	23.5	—	—	—	—	11.8	—	64.7	—	—
40歳代	11	27.3	36.4	—	—	—	18.2	—	—	18.2	—	36.4	—	45.5	—	—
50歳代	22	31.8	13.6	4.5	4.5	4.5	31.8	13.6	9.1	13.6	18.2	13.6	—	31.8	—	—
60歳代	22	36.4	36.4	9.1	4.5	4.5	31.8	13.6	18.2	9.1	13.6	27.3	—	36.4	9.1	—
70歳以上	56	28.6	28.6	—	10.7	5.4	30.4	8.9	21.4	1.8	21.4	17.9	1.8	16.1	—	5.4

問14 現在、あなたや家族の方が、介護保険、子育て支援サービスや障がい福祉サービスなどの福祉サービスを利用していますか。(○は1つ)

「利用していない」の割合が53.4%と最も高く、次いで「利用する必要がない」の割合が24.2%、「利用している」の割合が19.8%となっています。

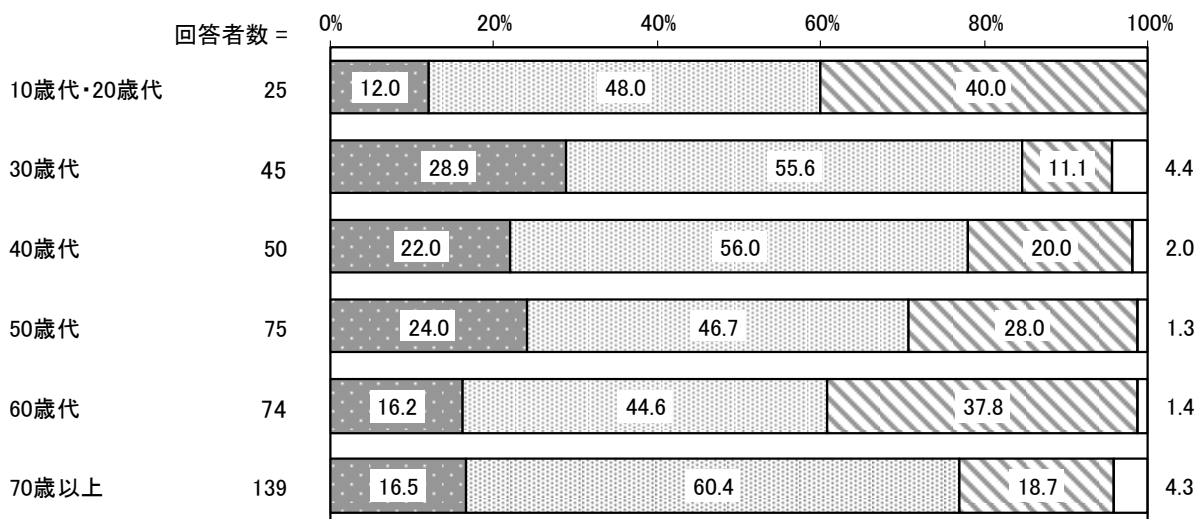
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「利用している」の割合が、70歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代、60歳代で「利用する必要がない」の割合が高くなっています。

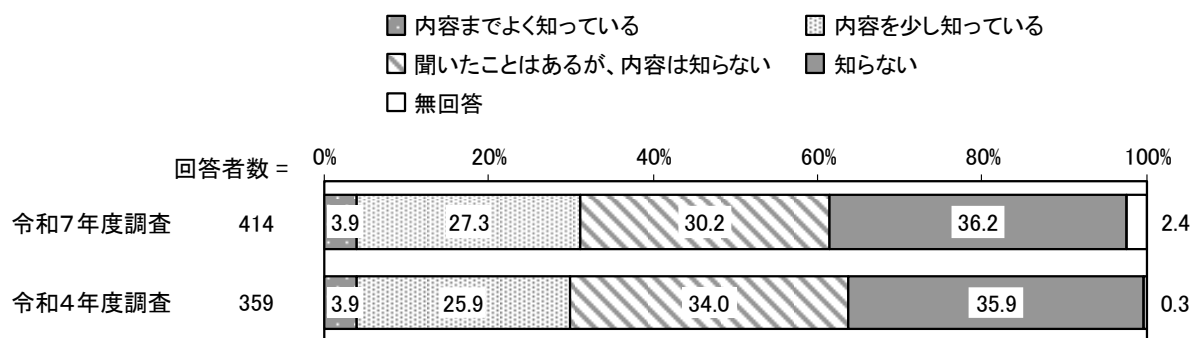


問15 あなたは、「日常生活自立支援事業・成年後見制度」をご存知ですか。
(○は1つ)

「知らない」の割合が36.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が30.2%、「内容を少し知っている」の割合が27.3%となっています。

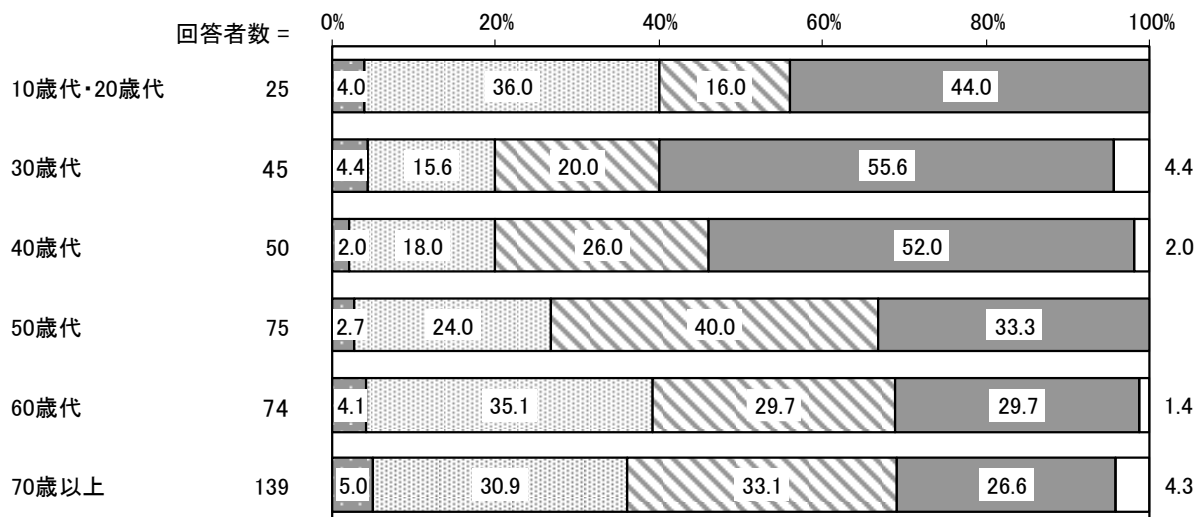
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



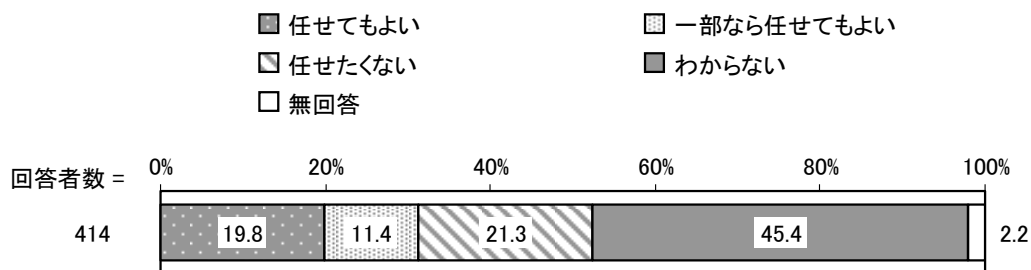
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代、60歳代で「内容を少し知っている」の割合が、50歳代で「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が高くなっています。また、30歳代、40歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



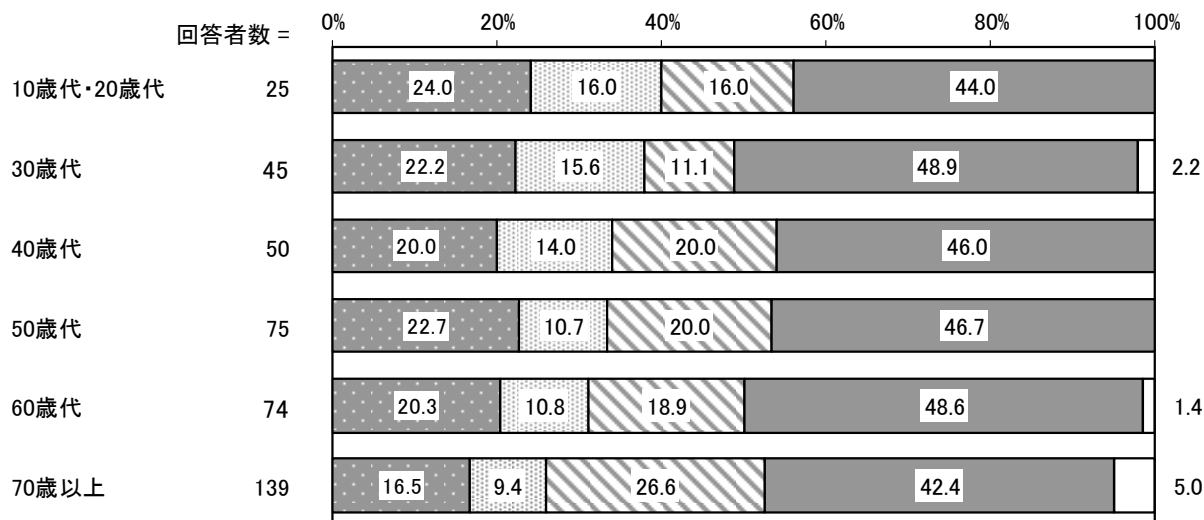
問16 あなたは、財産の管理や契約などについて、万一自分自身で判断ができなくなった場合、「成年後見人」に財産管理などを任せることについて、どう思いますか。
(〇は1つ)

「わからない」の割合が45.4%と最も高く、次いで「任せたくない」の割合が21.3%、「任せてもよい」の割合が19.8%となっています。



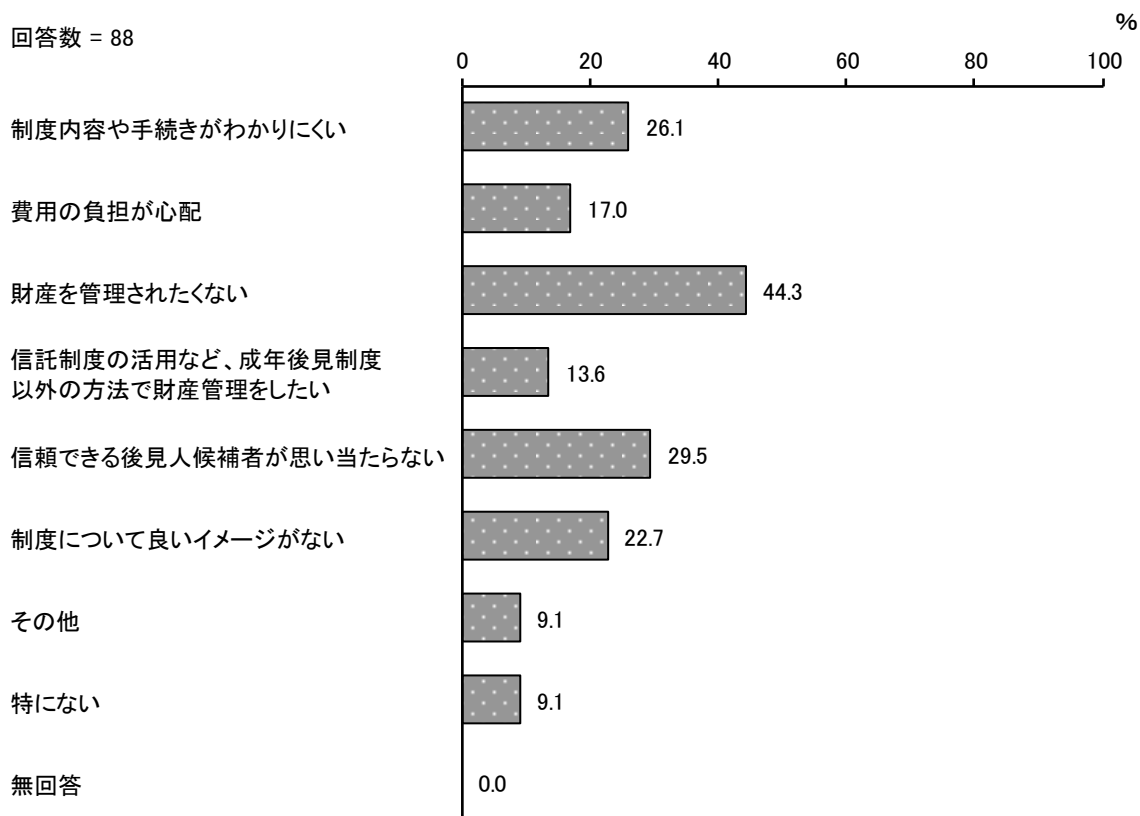
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で「任せたくない」の割合が高くなっています。



問16-1 任せたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「財産を管理されたくない」の割合が44.3%と最も高く、次いで「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」の割合が29.5%、「制度内容や手続きがわかりにくい」の割合が26.1%となっています。



【年齢別】

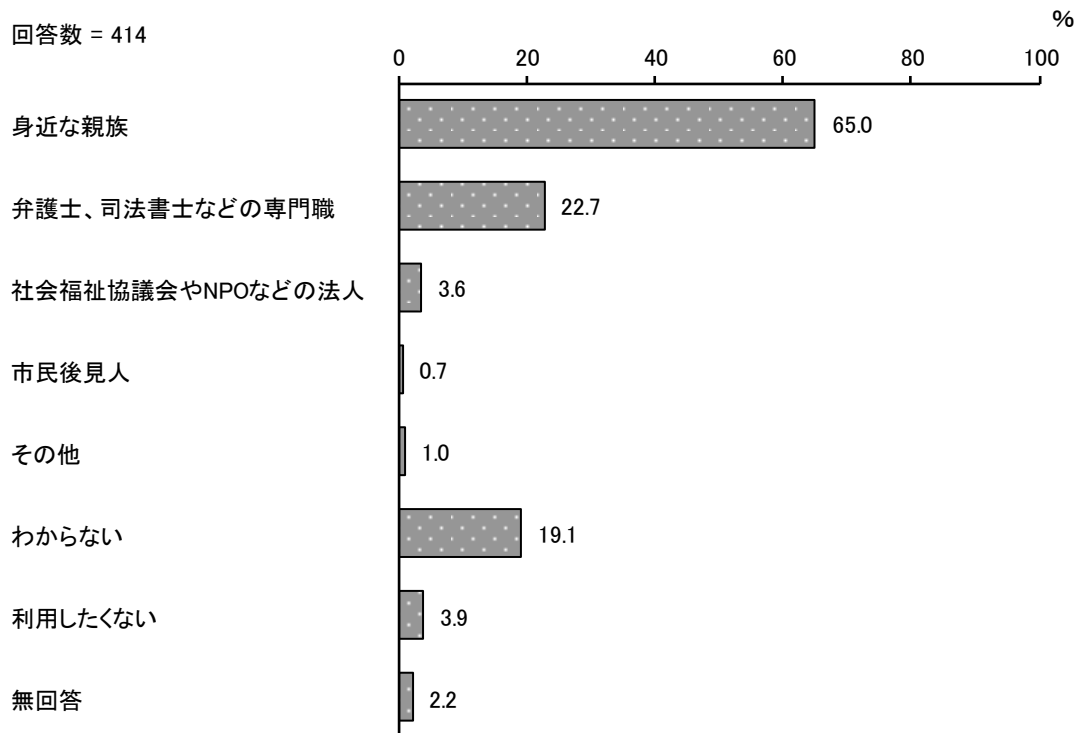
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「財産を管理されたくない」の割合が、40歳代で「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	制度内容や手続きがわかりにくい	費用の負担が心配	財産を管理されたくない	信託制度の活用など、成年後見制度以外の方法で財産管理をしたい	信頼できる後見人候補者が思い当たらない	制度について良いイメージがない	その他	特になし	無回答
10歳代・20歳代	4	75.0	25.0	50.0	—	—	25.0	—	—	—
30歳代	5	40.0	40.0	80.0	20.0	40.0	40.0	—	—	—
40歳代	10	30.0	40.0	40.0	20.0	50.0	20.0	—	10.0	—
50歳代	15	26.7	13.3	53.3	13.3	33.3	26.7	—	—	—
60歳代	14	28.6	21.4	35.7	7.1	28.6	14.3	28.6	7.1	—
70歳以上	37	16.2	8.1	35.1	16.2	27.0	24.3	10.8	16.2	—

問17 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どなたに後見人をお願いしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「身近な親族」の割合が65.0%と最も高く、次いで「弁護士、司法書士などの専門職」の割合が22.7%、「わからない」の割合が19.1%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代、60歳代で「身近な親族」の割合が、40歳代で「弁護士、司法書士などの専門職」の割合が高くなっています。

単位：%

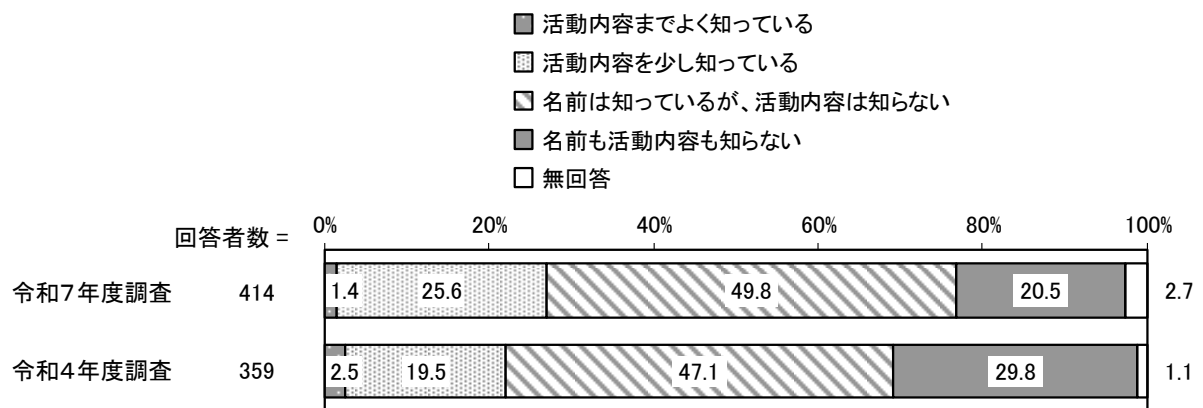
区分	回答者数(件)	身近な親族	弁護士、司法書士などの専門職	社会福祉協議会やNPOなどの法人	市民後見人	その他	わからない	利用したくない	無回答
10歳代・20歳代	25	72.0	20.0	—	—	—	24.0	4.0	—
30歳代	45	64.4	28.9	4.4	2.2	2.2	20.0	4.4	2.2
40歳代	50	58.0	38.0	6.0	2.0	2.0	20.0	2.0	—
50歳代	75	57.3	28.0	2.7	—	—	26.7	5.3	—
60歳代	74	71.6	28.4	2.7	—	—	17.6	2.7	2.7
70歳以上	139	66.9	10.8	4.3	0.7	1.4	14.4	3.6	4.3

問18 あなたは「清水町社会福祉協議会」の活動をご存知ですか。(〇は1つ)

「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が49.8%と最も高く、次いで「活動内容を少し知っている」の割合が25.6%、「名前も活動内容も知らない」の割合が20.5%となっています。

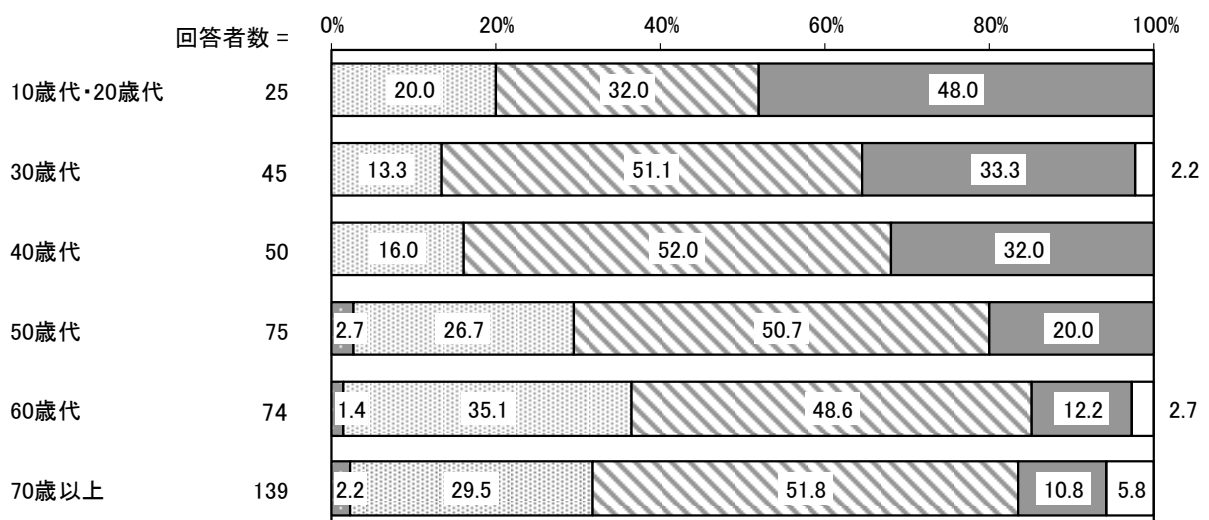
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「活動内容を少し知っている」の割合が増加しています。一方、「名前も活動内容も知らない」の割合が減少しています。



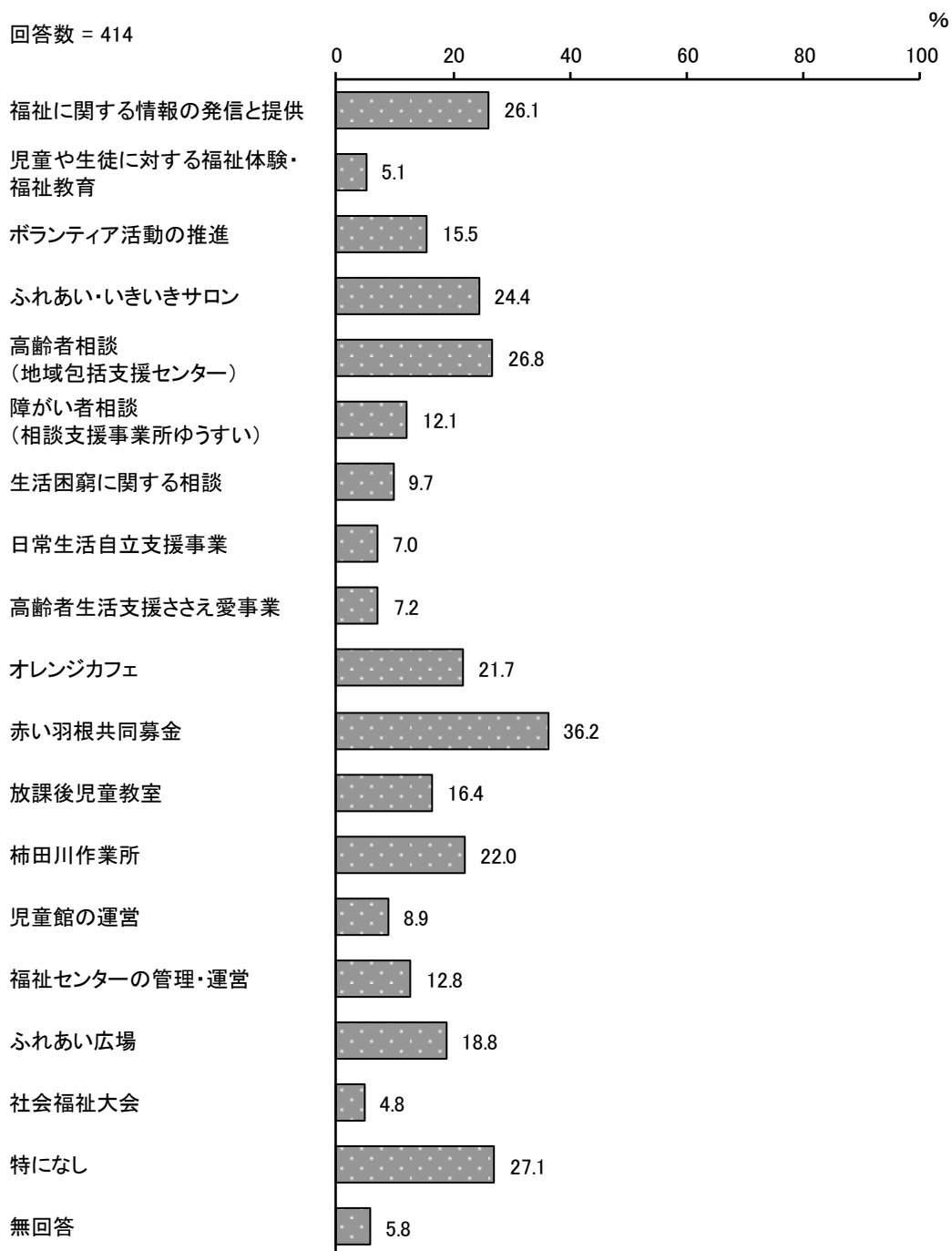
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で「活動内容を少し知っている」の割合が、10歳代・20歳代で「名前も活動内容も知らない」の割合が高くなっています。



問19 あなたが清水町社会福祉協議会の事業で知っているものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

「赤い羽根共同募金」の割合が36.2%と最も高く、次いで「特になし」の割合が27.1%、「高齢者相談（地域包括支援センター）」の割合が26.8%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で「福祉に関する情報の発信と提供」「ボランティア活動の推進」の割合が、70歳以上で「ふれあい・いきいきサロン」「高齢者相談（地域包括支援センター）」「オレンジカフェ」「柿田川作業所」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代で「児童館の運営」の割合が高くなっています。

単位：％

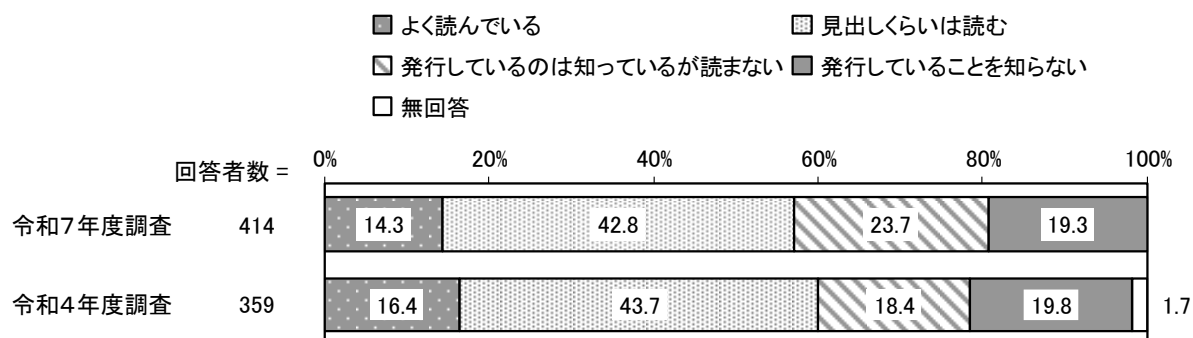
区分	回答者数（件）	福祉に関する情報の発信と提供	児童や生徒に対する福祉体験・福祉教育	ボランティア活動の推進	ふれあい・いきいきサロン	高齢者相談（地域包括支援センター）	障がい者相談（相談支援事業所ゆうすい）	生活困窮に関する相談	日常生活自立支援事業	高齢者生活支援ささえ愛事業	オレンジカフェ	赤い羽根共同募金	放課後児童教室	柿田川作業所	児童館の運営	福祉センターの管理・運営	ふれあい広場	社会福祉大会	特になし	無回答
10歳代・20歳代	25	20.0	—	8.0	12.0	12.0	4.0	4.0	4.0	—	8.0	20.0	4.0	12.0	16.0	12.0	16.0	—	44.0	4.0
30歳代	45	15.6	6.7	13.3	6.7	11.1	8.9	2.2	2.2	—	20.0	24.4	17.8	11.1	13.3	2.2	15.6	—	42.2	4.4
40歳代	50	20.0	8.0	10.0	12.0	10.0	6.0	—	2.0	2.0	14.0	22.0	14.0	14.0	8.0	8.0	4.0	—	38.0	4.0
50歳代	75	29.3	8.0	14.7	18.7	28.0	14.7	9.3	10.7	8.0	13.3	44.0	17.3	26.7	8.0	14.7	20.0	2.7	25.3	5.3
60歳代	74	33.8	2.7	21.6	29.7	23.0	14.9	12.2	12.2	8.1	21.6	43.2	16.2	17.6	6.8	17.6	20.3	5.4	20.3	2.7
70歳以上	139	27.3	4.3	17.3	37.4	41.7	14.4	15.1	6.5	11.5	32.4	40.3	18.7	30.2	8.6	14.4	25.2	10.1	18.7	9.4

問20 あなたは、年3回発行されている清水町社会福祉協議会の広報紙「社協だより」をご覧になっていますか。（〇は1つ）

「見出しくらいは読む」の割合が42.8%と最も高く、次いで「発行しているのは知っているが読まない」の割合が23.7%、「発行していることを知らない」の割合が19.3%となっています。

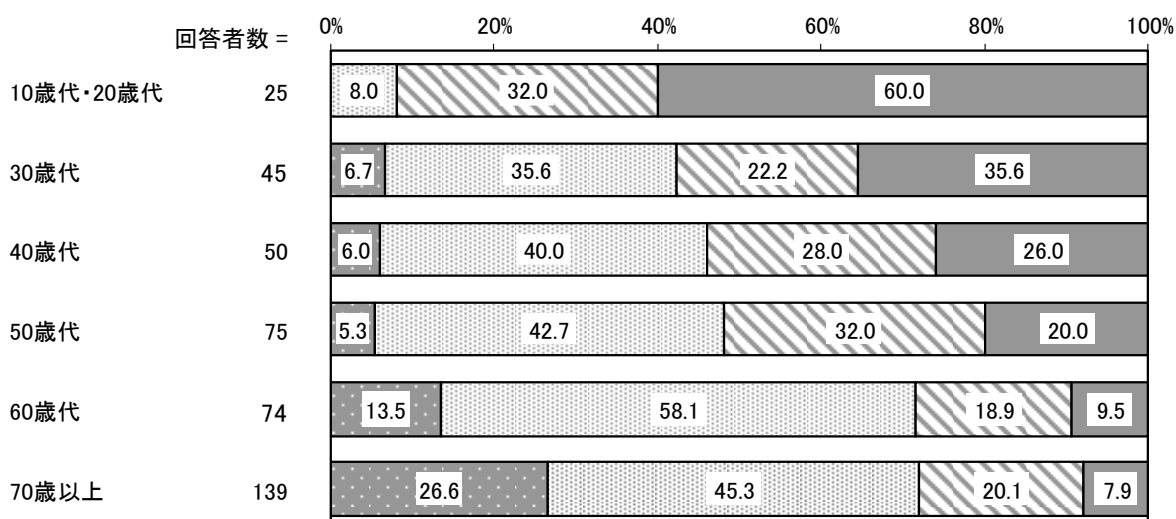
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「発行しているのは知っているが読まない」の割合が増加しています。



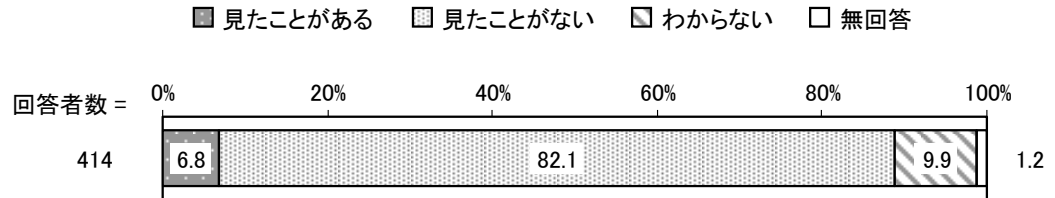
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「よく読んでいる」の割合が、60歳代で「見出しくらいは読む」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代、30歳代で「発行していることを知らない」の割合が高くなっています。



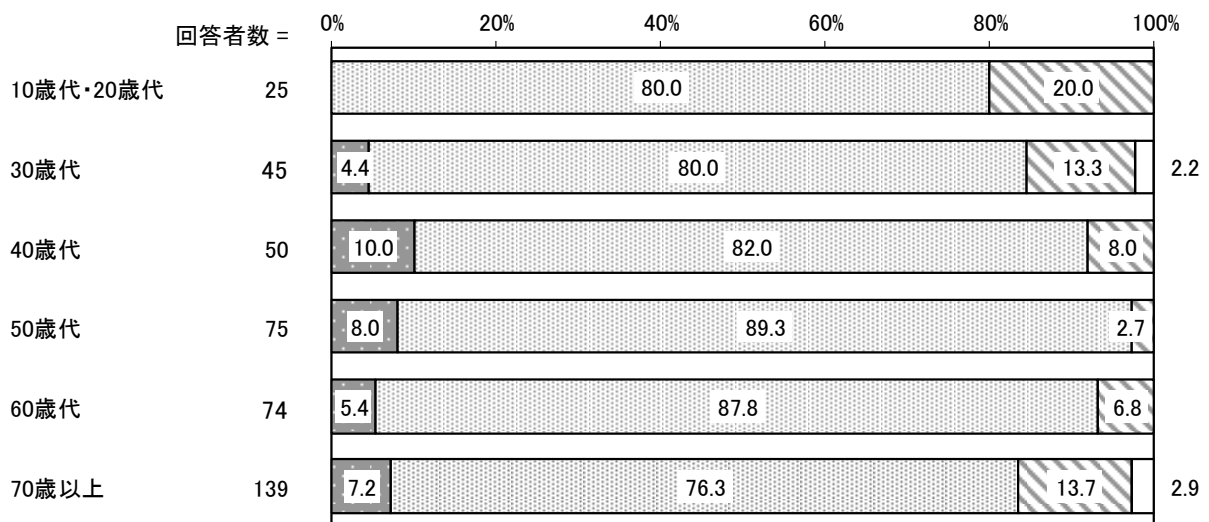
問21 清水町の社会福祉協議会の「ホームページ」または、「フェイスブック」をご覧になったことがありますか。(〇は1つ)

「見たことがない」の割合が82.1%と最も高くなっています。



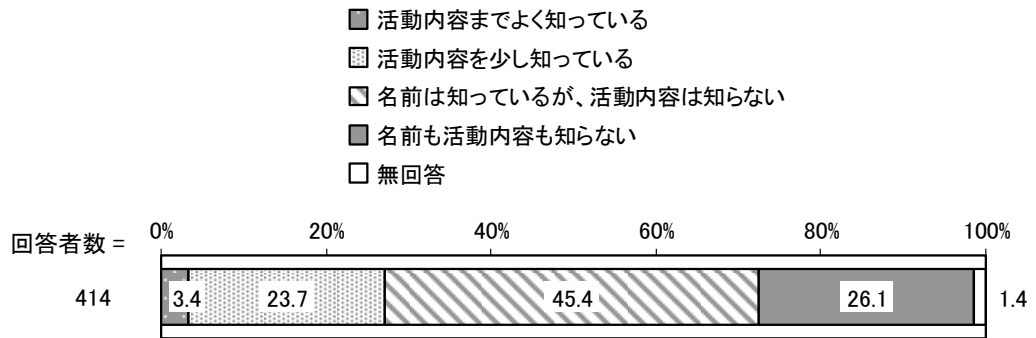
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で「見たことがない」の割合が、10歳代・20歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



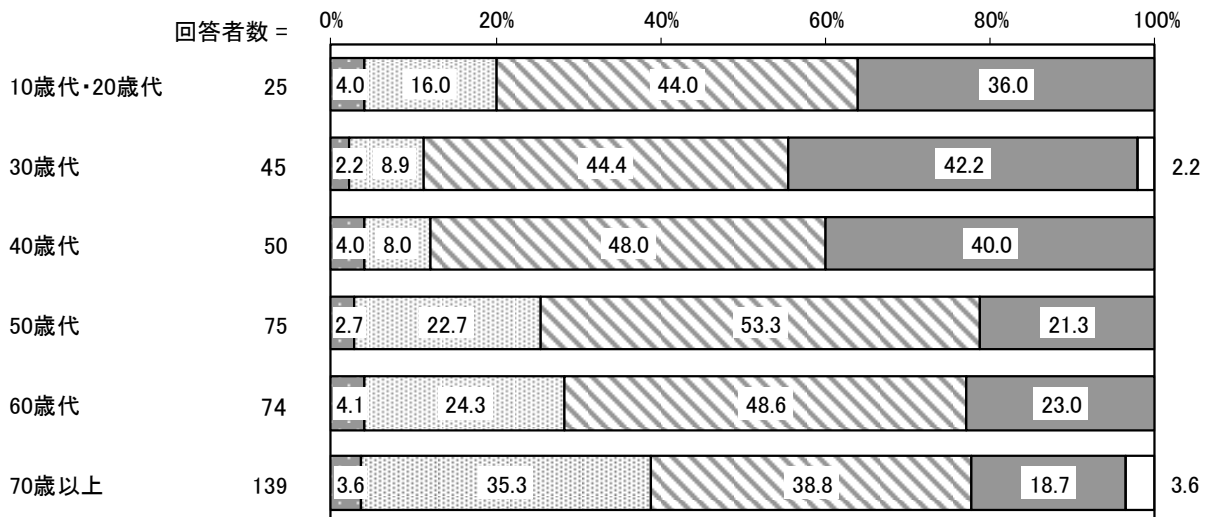
問22 あなたは「清水町地域包括支援センター」の活動をご存知ですか。(〇は1つ)

「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が45.4%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知らない」の割合が26.1%、「活動内容を少し知っている」の割合が23.7%となっています。



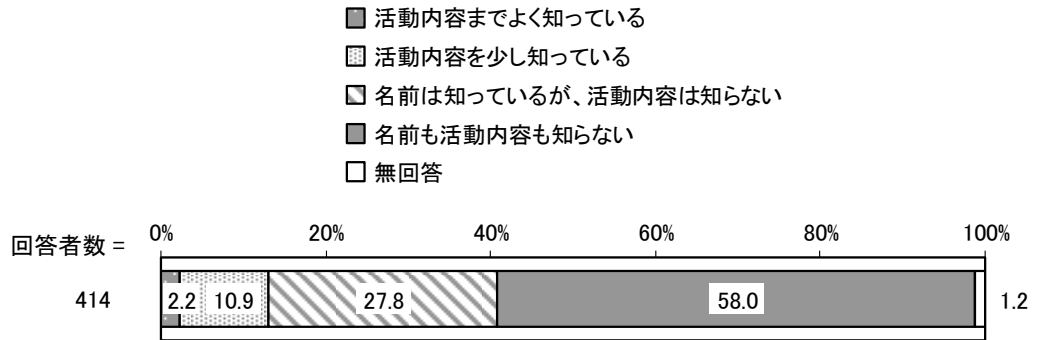
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「活動内容を少し知っている」の割合が、30歳代、40歳代で「名前も活動も知らない」の割合が高くなっています。



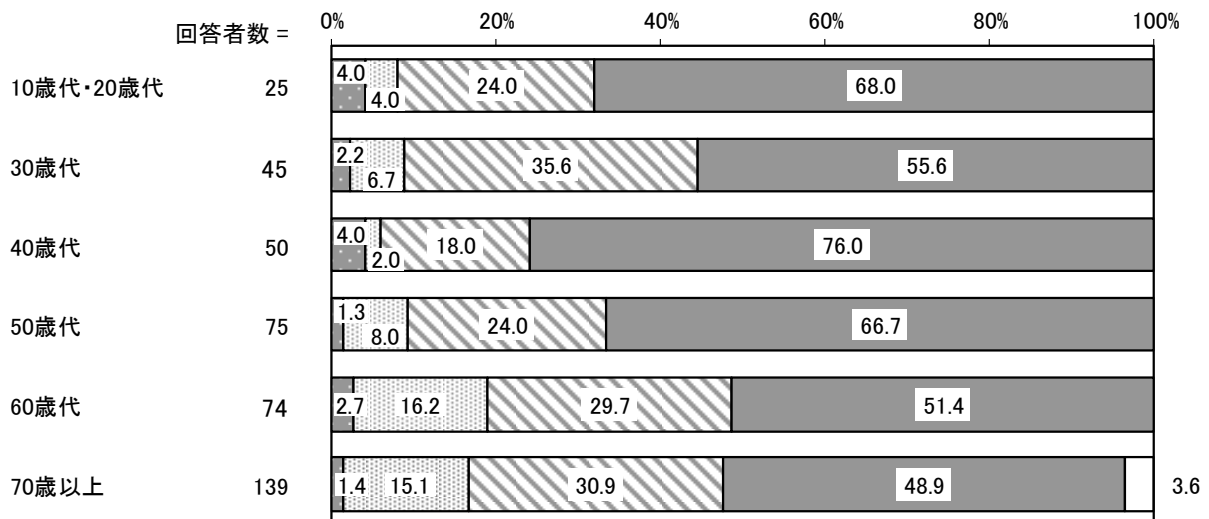
問23 あなたは「相談支援事業所」の活動をご存知ですか。(〇は1つ)

「名前も活動内容も知らない」の割合が58.0%と最も高く、次いで「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が27.8%、「活動内容を少し知っている」の割合が10.9%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「活動内容を少し知っている」の割合が、30歳代で「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代、40歳代、50歳代で「名前も活動内容も知らない」の割合が高くなっています。

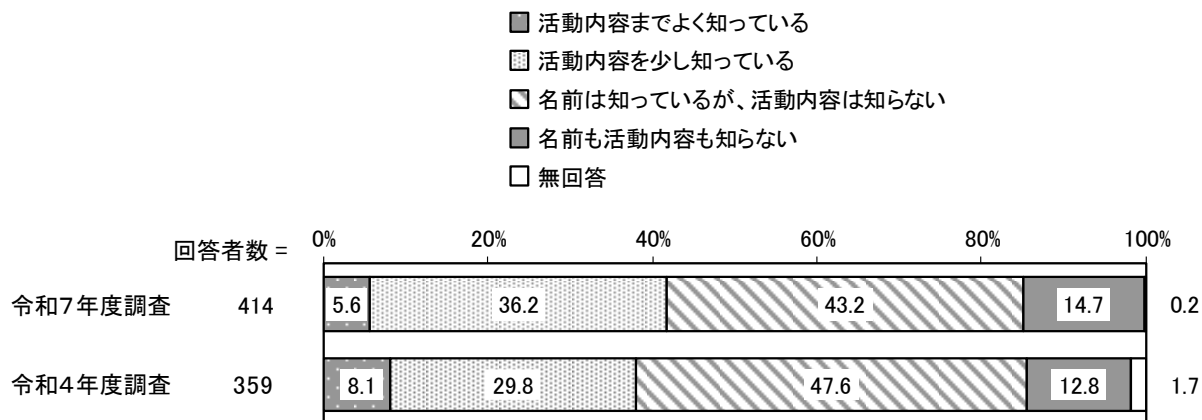


問24 あなたは「民生委員・児童委員」の活動をご存知ですか。(〇は1つ)

「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が43.2%と最も高く、次いで「活動内容を少し知っている」の割合が36.2%、「名前も活動内容も知らない」の割合が14.7%となっています。

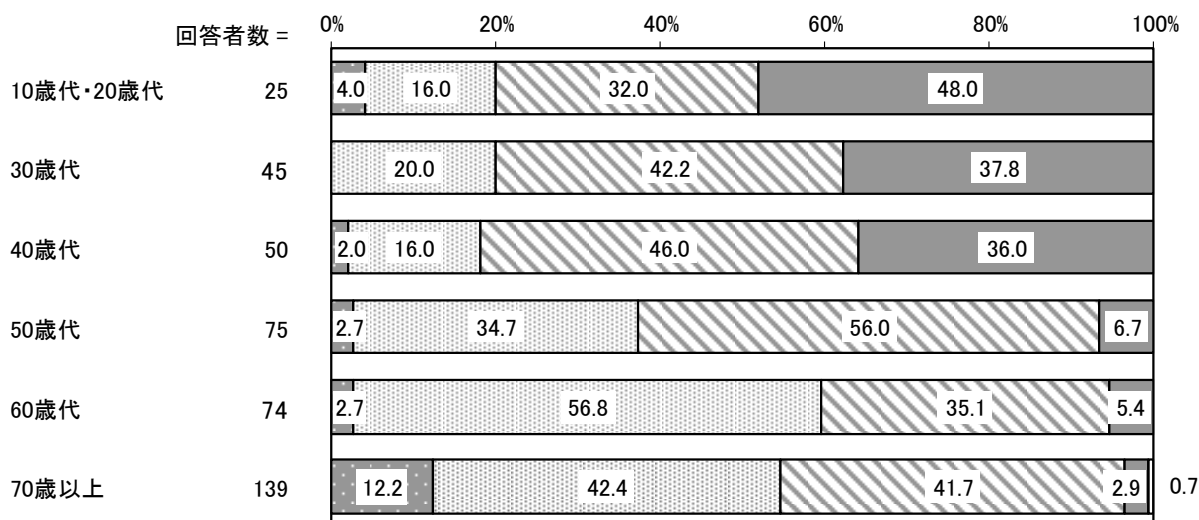
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「活動内容を少し知っている」の割合が増加しています。



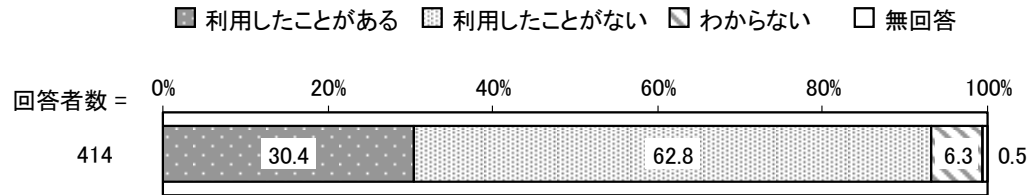
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「活動内容までよく知っている」の割合が、60歳代で「活動内容を少し知っている」の割合が高くなっています。また、50歳代で「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が、10歳代・20歳代で「名前も活動内容も知らない」の割合が高くなっています。



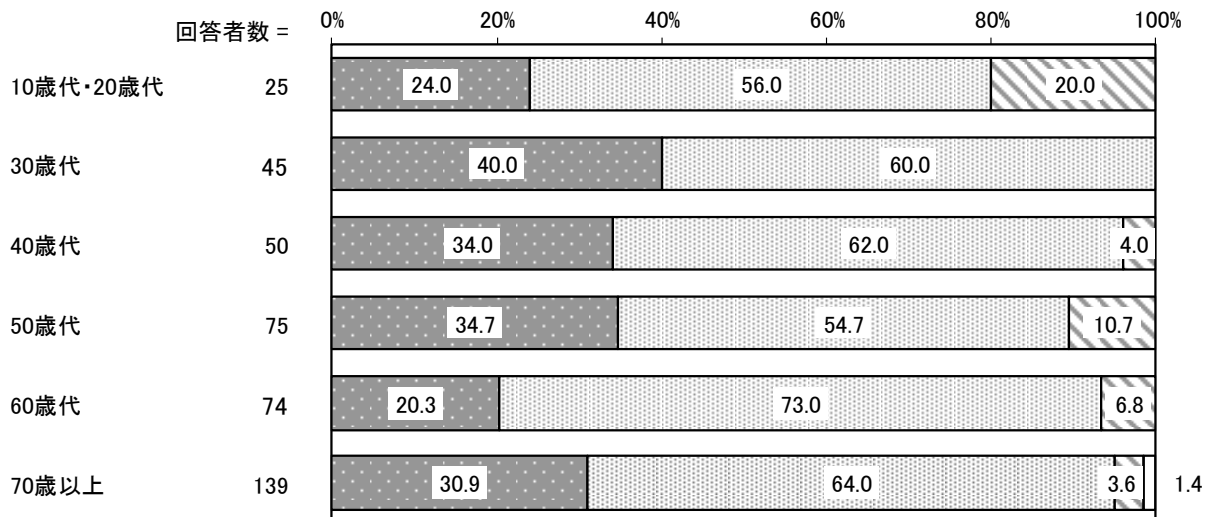
問25 あなたは、福祉センターを利用したことがありますか。(〇は1つ)

「利用したことがない」の割合が62.8%と最も高く、次いで「利用したことがある」の割合が30.4%となっています。



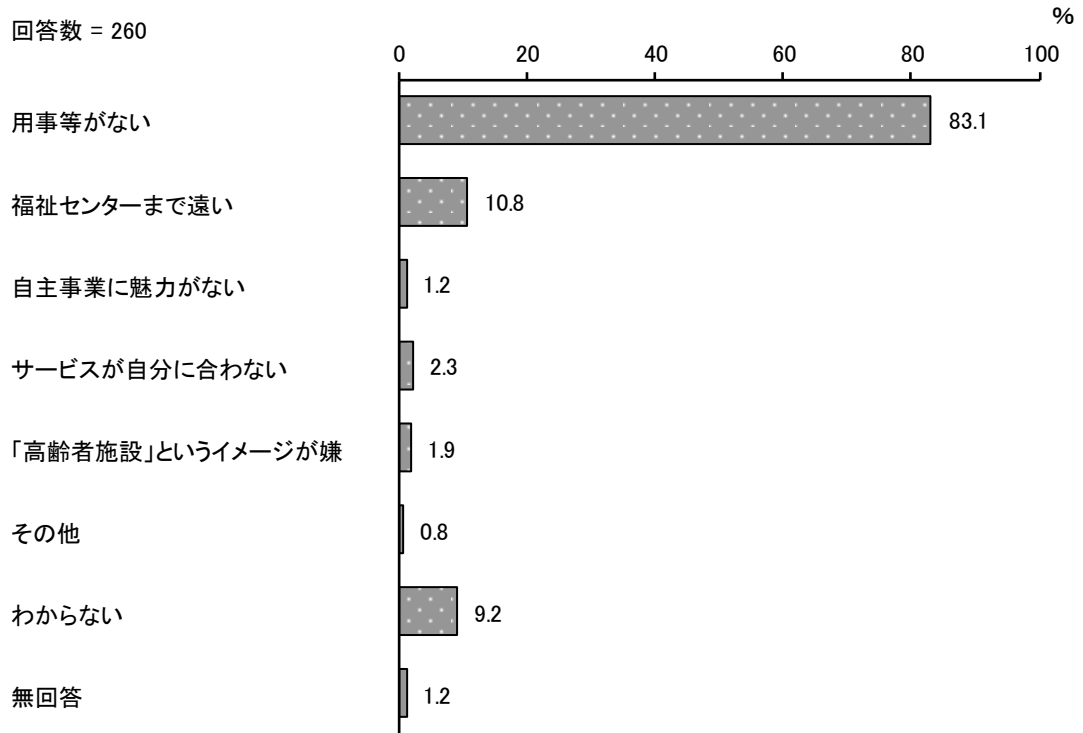
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「利用したことがある」の割合が、60歳代で「利用したことがない」の割合が高くなっています。



問25-1 利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「用事等がない」の割合が83.1%と最も高く、次いで「福祉センターまで遠い」の割合が10.8%となっています。



【年齢別】

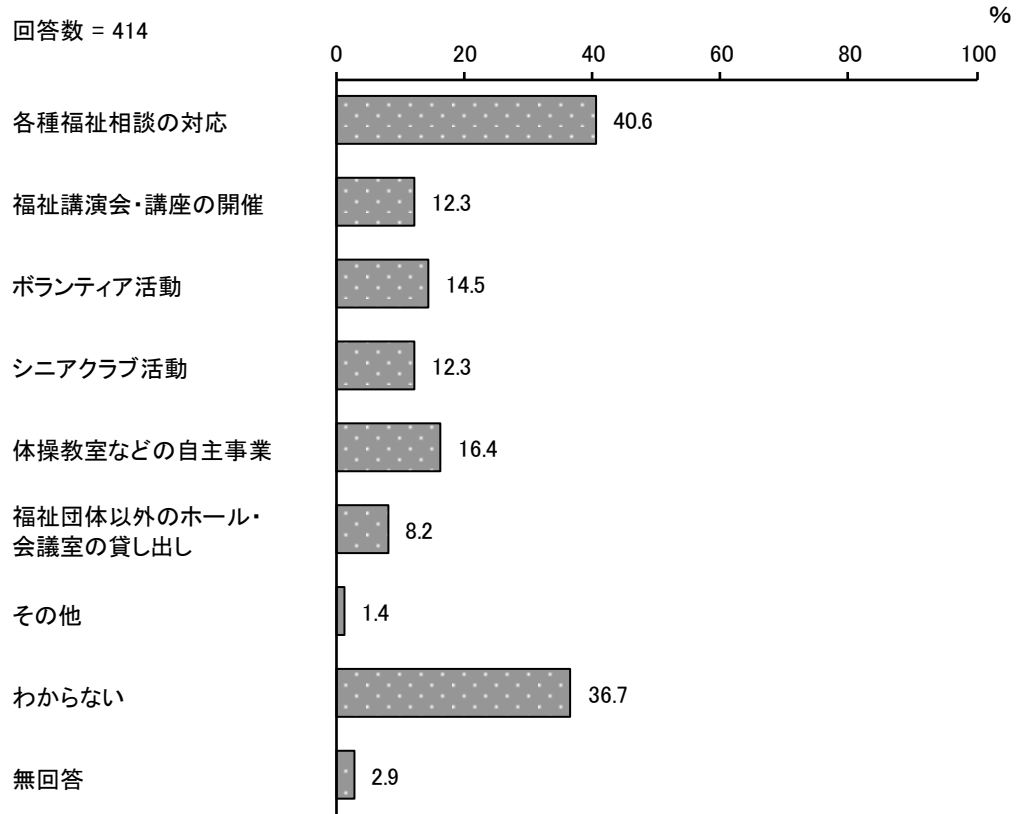
年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代、30歳代で「用事等がない」の割合が、70歳以上で「福祉センターまで遠い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	用事等がない	福祉センターまで遠い	自主事業に魅力がない	サービスが自分に合わない	「高齢者施設」というイメージが嫌	その他	わからない	無回答
10歳代・20歳代	14	92.9	—	—	—	—	7.1	—	—
30歳代	27	88.9	3.7	—	3.7	3.7	—	11.1	—
40歳代	31	83.9	—	—	6.5	—	—	12.9	—
50歳代	41	82.9	4.9	—	—	2.4	—	7.3	4.9
60歳代	54	87.0	13.0	1.9	3.7	3.7	—	7.4	—
70歳以上	89	77.5	19.1	2.2	1.1	1.1	1.1	10.1	1.1

問26 あなたは、福祉センターの事業で期待することはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「各種福祉相談の対応」の割合が40.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が36.7%、「体操教室などの自主事業」の割合が16.4%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「各種福祉相談の対応」の割合が、10歳代・20歳代で「ボランティア活動」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「シニアクラブ活動」の割合が、40歳代で「体操教室などの自主事業」の割合が高くなっています。

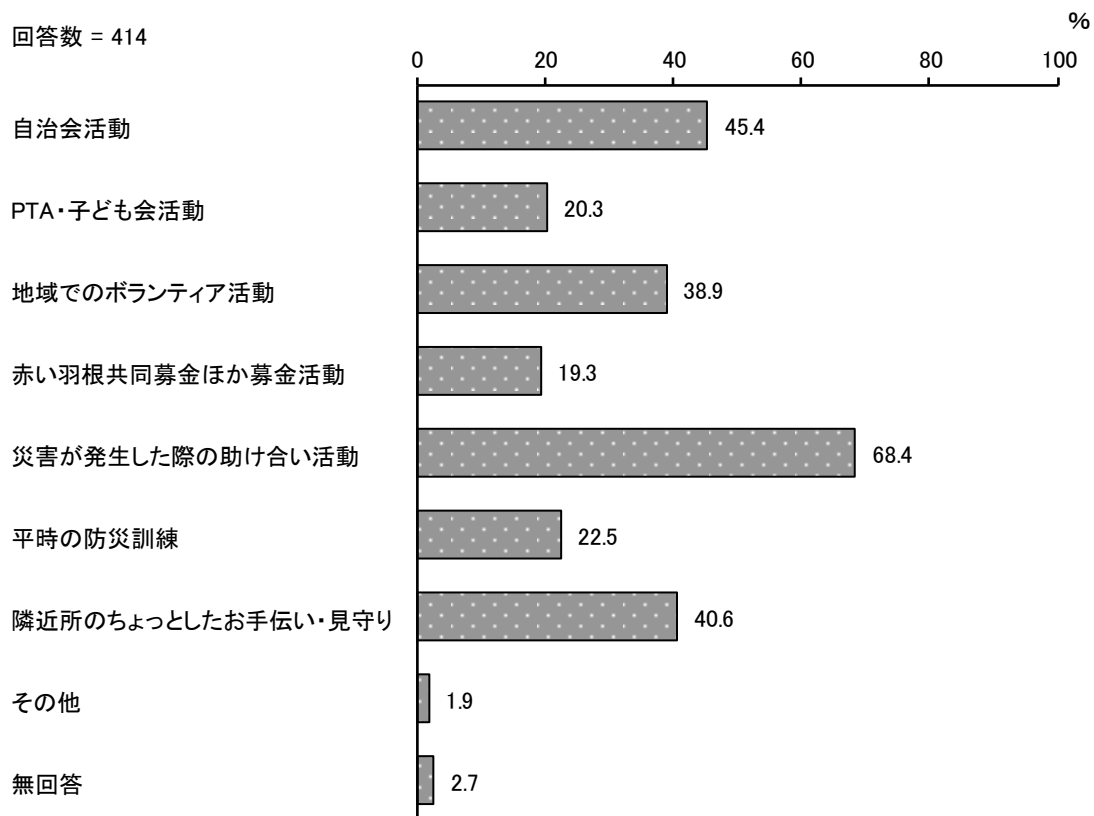
単位：％

区分	回答者数(件)	各種福祉相談の対応	福祉講演会・講座の開催	ボランティア活動	シニアクラブ活動	体操教室などの自主事業	福祉団体以外のホール・会議室の貸し出し	その他	わからない	無回答
10歳代・20歳代	25	32.0	12.0	24.0	8.0	8.0	16.0	4.0	44.0	—
30歳代	45	33.3	11.1	11.1	4.4	20.0	4.4	—	48.9	—
40歳代	50	46.0	8.0	12.0	8.0	24.0	10.0	4.0	32.0	2.0
50歳代	75	56.0	12.0	13.3	10.7	12.0	12.0	1.3	32.0	—
60歳代	74	39.2	16.2	18.9	9.5	17.6	6.8	—	32.4	1.4
70歳以上	139	34.5	11.5	12.9	20.1	15.8	6.5	1.4	37.4	7.2

(4) 地域での支え合い・助け合いについて

問27 あなたは、地域の「支え合い・助け合い」という言葉から、どんな活動を思い浮かべますか。(あてはまるものすべてに○)

「災害が発生した際の助け合い活動」の割合が68.4%と最も高く、次いで「自治会活動」の割合が45.4%、「隣近所のちょっとしたお手伝い・見守り」の割合が40.6%となっています。



【年齢別】

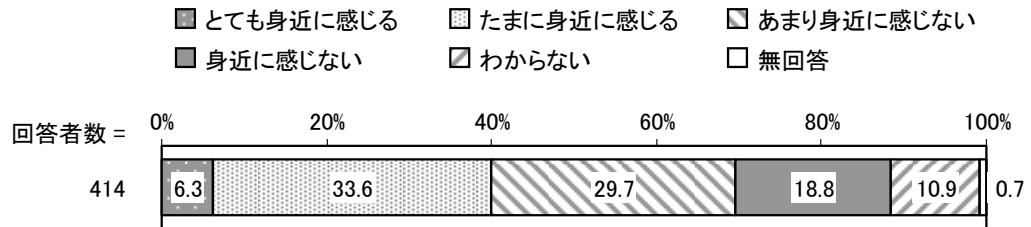
年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代で「地域でのボランティア活動」の割合が、40歳代、60歳代で「災害が発生した際の助け合い活動」の割合が高くなっています。また、40歳代で「隣近所のちょっとしたお手伝い・見守り」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自治会活動	P T A・子ども会活動	地域でのボランティア活動	赤い羽根共同募金ほか募金活動	災害が発生した際の助け合い活動	平時の防災訓練	隣近所のちょっとしたお手伝い・見守り	その他	無回答
10歳代・20歳代	25	48.0	36.0	52.0	8.0	64.0	8.0	40.0	4.0	—
30歳代	45	48.9	35.6	46.7	13.3	68.9	17.8	42.2	—	2.2
40歳代	50	50.0	34.0	48.0	16.0	78.0	24.0	48.0	2.0	—
50歳代	75	46.7	25.3	44.0	24.0	68.0	13.3	38.7	1.3	—
60歳代	74	50.0	18.9	40.5	21.6	77.0	29.7	35.1	—	—
70歳以上	139	38.8	5.8	25.9	21.6	60.4	28.1	40.3	3.6	7.2

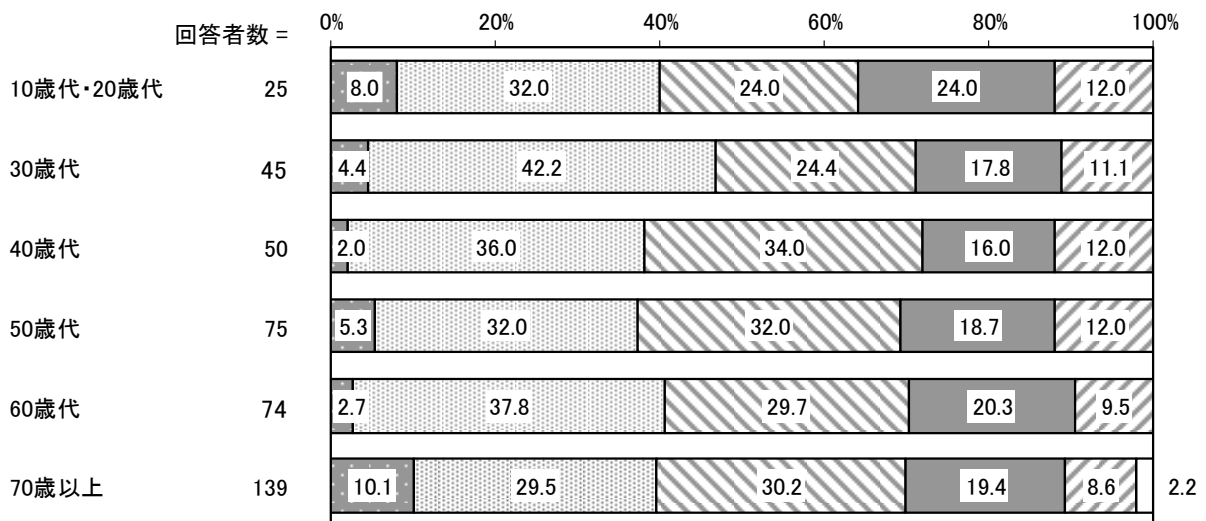
問28 あなたは、自ら住んでいる地域で、「支え合い・助け合い」が行われていることを身近に感じていますか。(〇は1つ)

「たまに身近に感じる」の割合が33.6%と最も高く、次いで「あまり身近に感じない」の割合が29.7%、「身近に感じない」の割合が18.8%となっています。



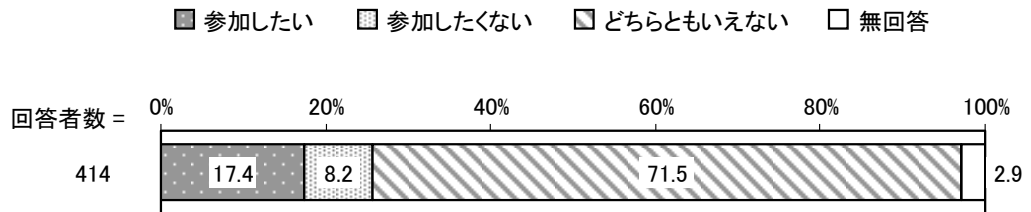
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「たまに身近に感じる」の割合が、10歳代・20歳代で「身近に感じない」の割合が高くなっています。



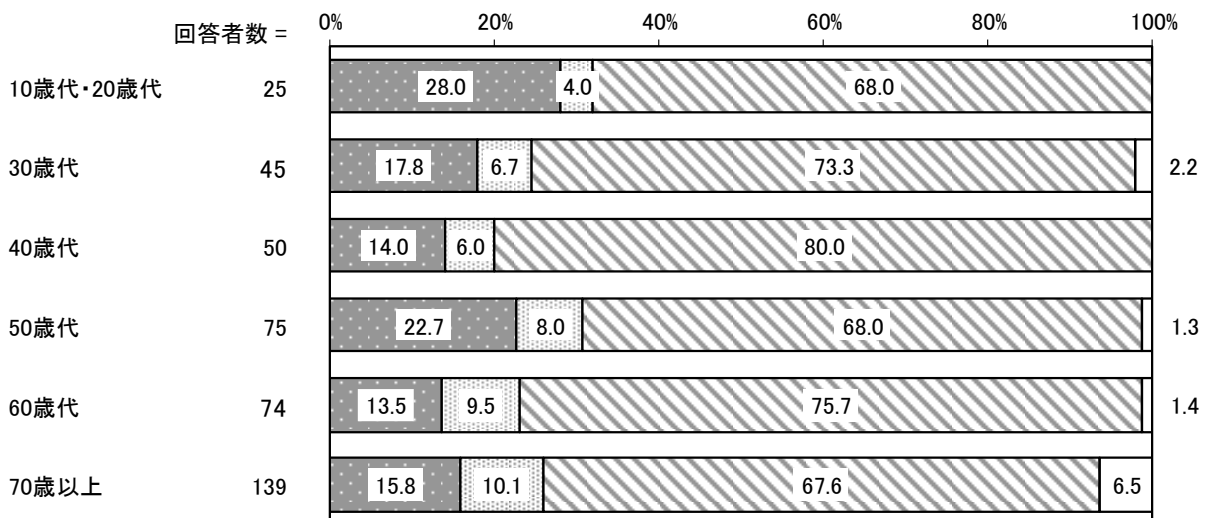
問29 あなたは、地域での「支え合い・助け合い」活動に参加したいと思いますか。
(○は1つ)

「どちらともいえない」の割合が71.5%と最も高く、次いで「参加したい」の割合が17.4%となっています。



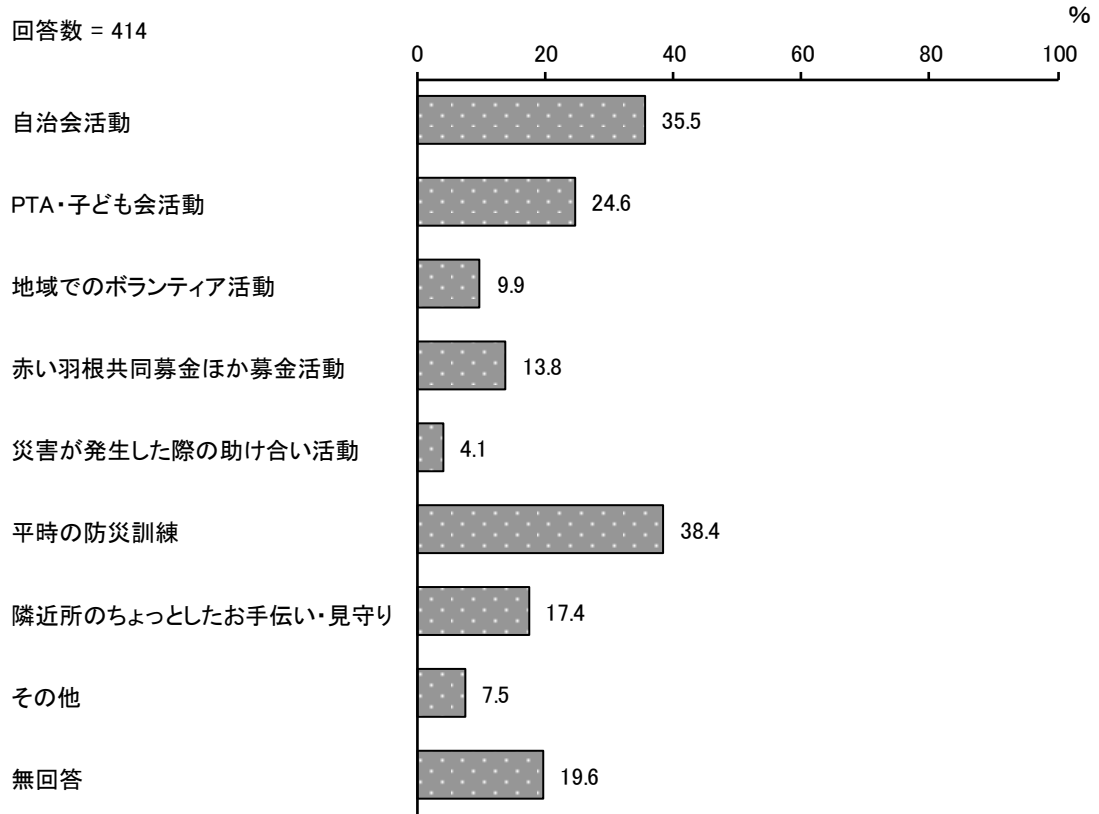
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代で「参加したい」の割合が、40歳代で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



問30 あなたは、以下のような、地域の「支え合い・助け合い」活動に参加したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「平時の防災訓練」の割合が38.4%と最も高く、次いで「自治会活動」の割合が35.5%、「PTA・子ども会活動」の割合が24.6%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、50歳代、60歳代で「自治会活動」の割合が、40歳代、50歳代で「PTA・子ども会活動」の割合が高くなっています。また、60歳代で「平時の防災訓練」の割合が高くなっています。

単位：%

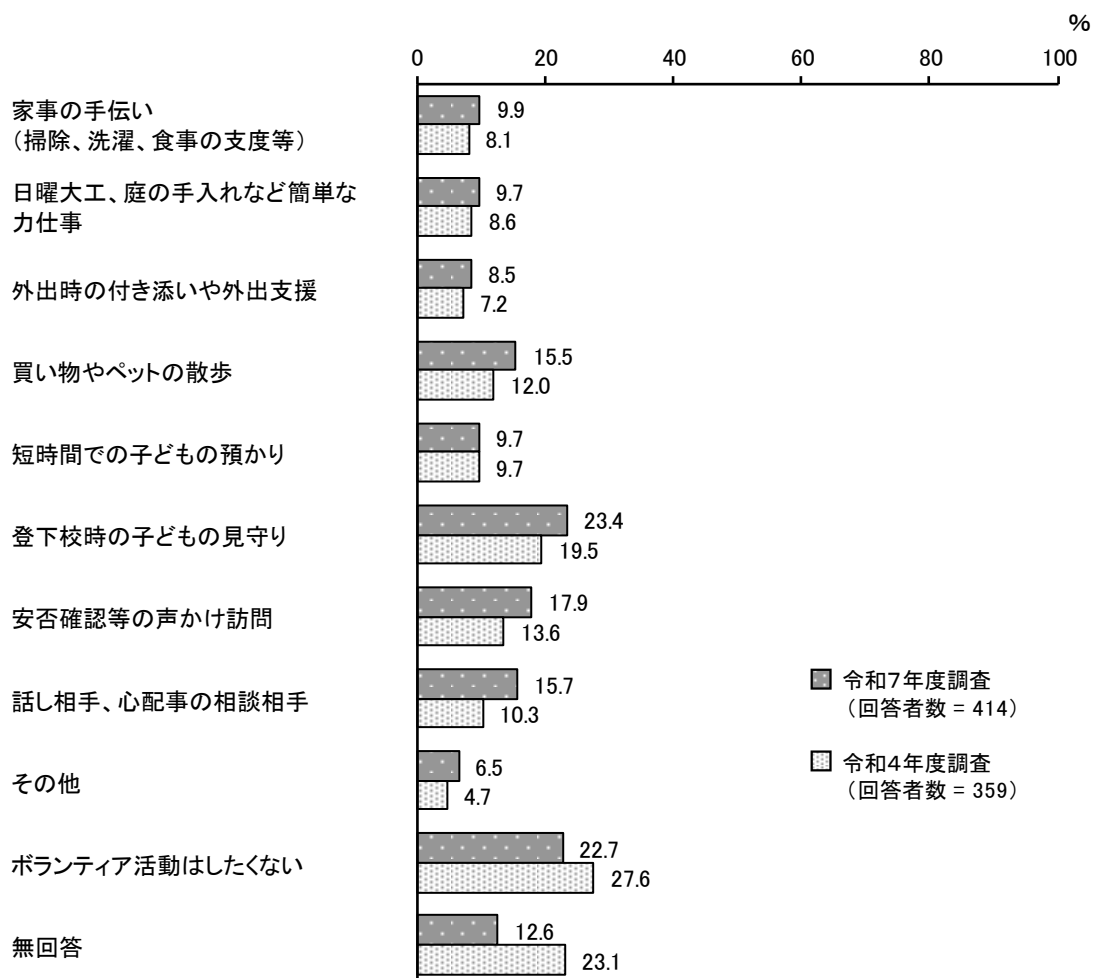
区分	回答者数(件)	自治会活動	PTA・子ども会活動	地域でのボランティア活動	赤い羽根共同募金ほか募金活動	災害が発生した際の助け合い活動	平時の防災訓練	隣近所のちょっとしたお手伝い・見守り	その他	無回答
10歳代・20歳代	25	16.0	12.0	4.0	12.0	4.0	28.0	12.0	8.0	32.0
30歳代	45	22.2	26.7	8.9	11.1	2.2	22.2	11.1	11.1	33.3
40歳代	50	32.0	42.0	14.0	6.0	6.0	40.0	16.0	8.0	16.0
50歳代	75	46.7	42.7	8.0	12.0	5.3	34.7	16.0	5.3	9.3
60歳代	74	45.9	28.4	14.9	17.6	2.7	52.7	16.2	4.1	13.5
70歳以上	139	33.1	9.4	7.9	15.8	4.3	41.0	20.9	9.4	23.0

問31 あなたが、「これならやってみたい、できる」というボランティア活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

「登下校時の子どもの見守り」の割合が23.4%と最も高く、次いで「ボランティア活動はしたくない」の割合が22.7%、「安否確認等の声かけ訪問」の割合が17.9%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「話し相手、心配事の相談相手」の割合が増加しています。



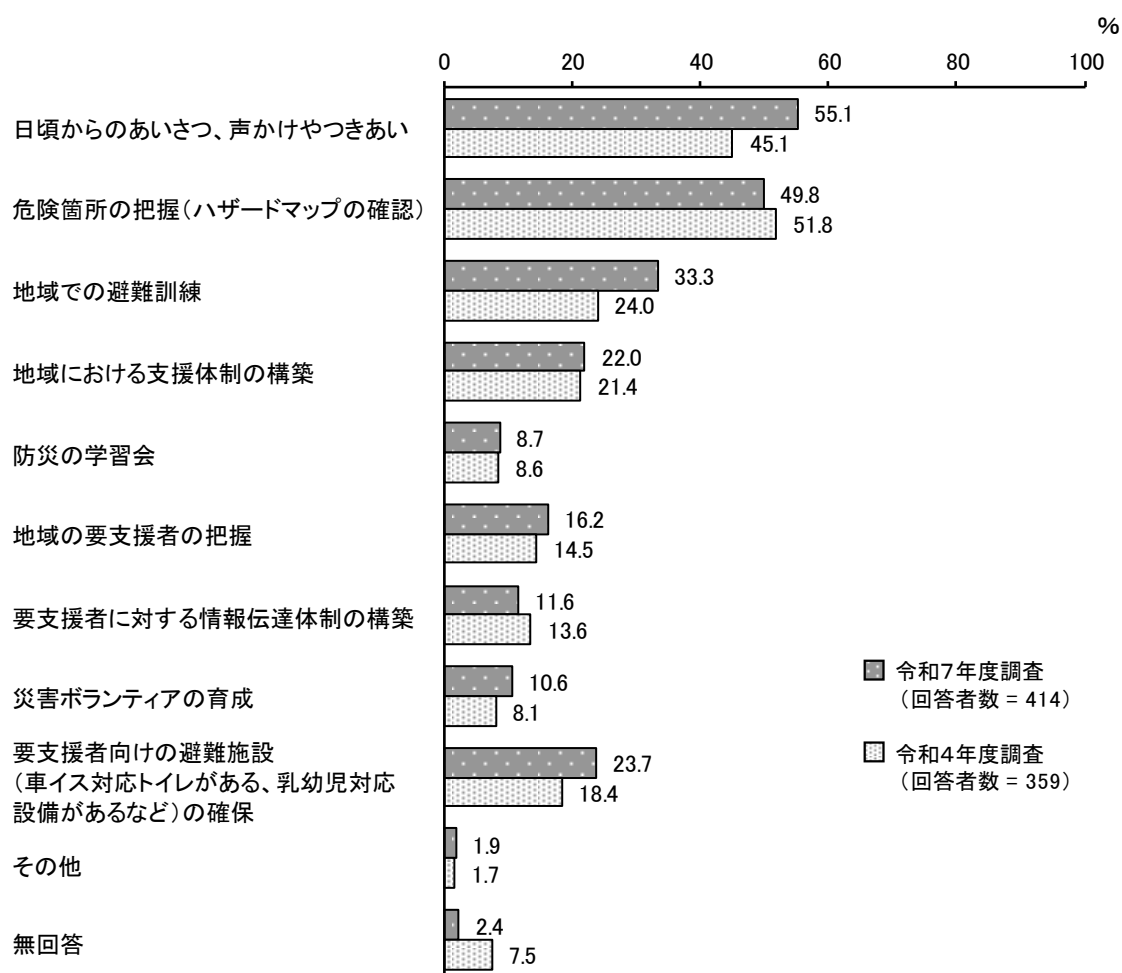
(5) 災害・防災について

問32 あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」の割合が55.1%と最も高く、次いで「危険箇所の把握(ハザードマップの確認)」の割合が49.8%、「地域での避難訓練」の割合が33.3%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」「地域での避難訓練」「要支援者向けの避難施設(車イス対応トイレがある、乳幼児対応設備があるなど)の確保」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「危険箇所の把握（ハザードマップの確認）」の割合が、10歳代・20歳代で「地域での避難訓練」「要支援者向けの避難施設（車イス対応トイレがある、乳幼児対応設備があるなど）の確保」の割合が高くなっています。また、50歳代で「地域の要支援者の把握」の割合が高くなっています。

単位：％

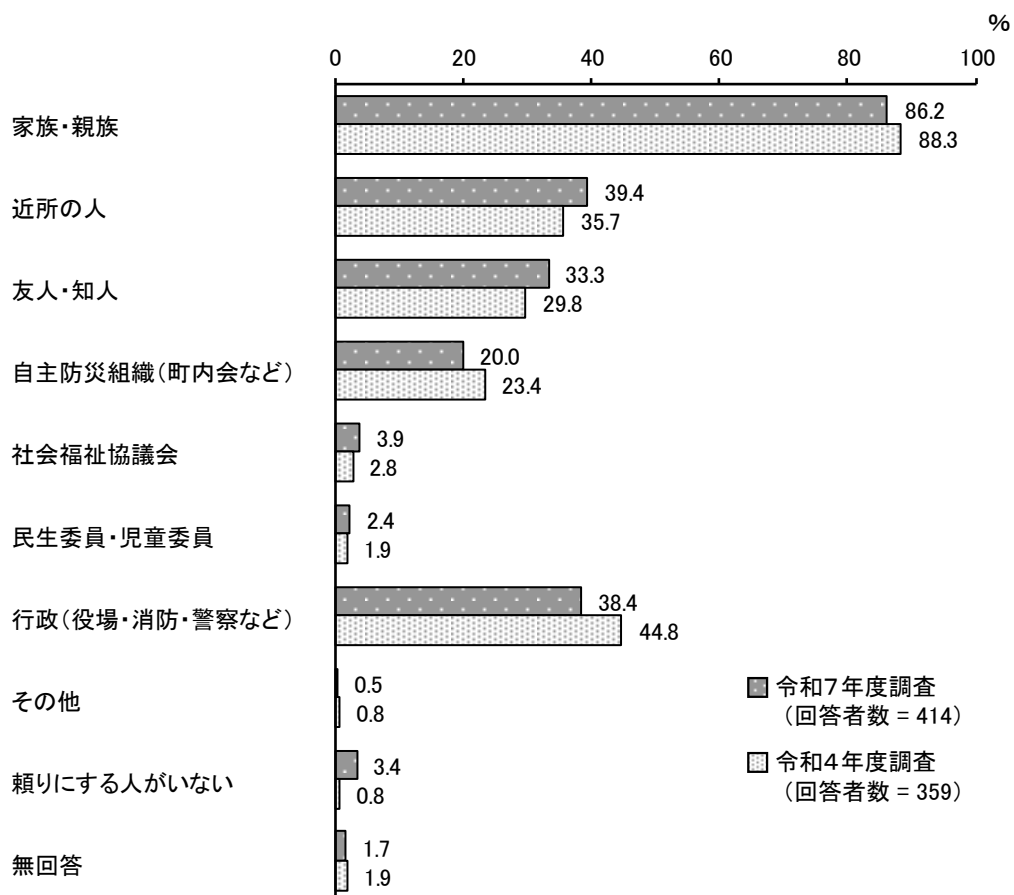
区分	回答者数（件）	日頃からのあいさつ、声かけやつきあい	危険箇所の把握（ハザードマップの確認）	地域での避難訓練	地域における支援体制の構築	防災の学習会	地域の要支援者の把握	要支援者に対する情報伝達体制の構築	災害ボランティアの育成	要支援者向けの避難施設（車イス対応トイレがある、乳幼児対応設備があるなど）の確保	その他	無回答
10歳代・20歳代	25	52.0	64.0	52.0	20.0	12.0	16.0	4.0	—	36.0	—	—
30歳代	45	57.8	55.6	35.6	17.8	13.3	8.9	6.7	15.6	28.9	—	—
40歳代	50	46.0	72.0	40.0	18.0	8.0	12.0	6.0	12.0	12.0	6.0	2.0
50歳代	75	49.3	52.0	26.7	26.7	9.3	24.0	12.0	12.0	25.3	1.3	1.3
60歳代	74	55.4	50.0	32.4	29.7	4.1	14.9	18.9	14.9	24.3	—	1.4
70歳以上	139	60.4	36.0	30.9	18.0	9.4	15.8	12.9	7.9	21.6	2.9	5.0

問33 あなたは、災害が起きた時に誰を頼りにしますか。
(あてはまるものすべてに○)

「家族・親族」の割合が86.2%と最も高く、次いで「近所の人」の割合が39.4%、「行政（役場・消防・警察など）」の割合が38.4%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「行政（役場・消防・警察など）」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「近所の人」の割合が、60歳代で「自主防災組織（町内会など）」の割合が高くなっています。また、50歳代で「行政（役場・消防・警察など）」の割合が高くなっています。

単位：％

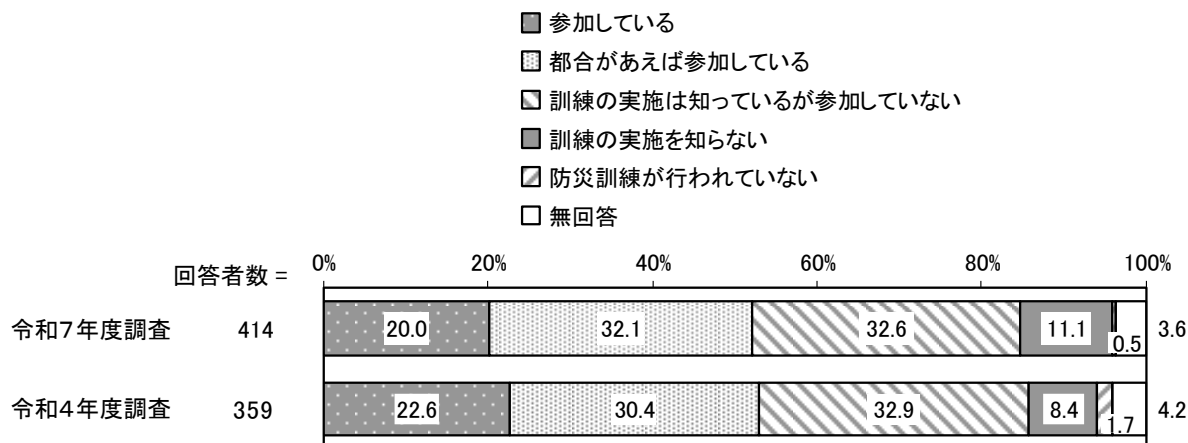
区分	回答者数（件）	家族・親族	近所の人	友人・知人	自主防災組織（町内会など）	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	行政（役場・消防・警察など）	その他	頼りにする人がいない	無回答
10歳代・20歳代	25	88.0	24.0	44.0	20.0	—	—	32.0	—	4.0	—
30歳代	45	93.3	31.1	33.3	15.6	2.2	2.2	42.2	—	2.2	—
40歳代	50	90.0	32.0	42.0	14.0	2.0	—	36.0	—	2.0	—
50歳代	75	86.7	36.0	29.3	21.3	2.7	1.3	48.0	1.3	1.3	1.3
60歳代	74	87.8	40.5	43.2	27.0	2.7	1.4	41.9	—	4.1	1.4
70歳以上	139	81.3	48.9	24.5	20.1	6.5	5.0	32.4	0.7	5.0	3.6

問34 あなたは、日頃から地域の防災訓練等に参加していますか。(〇は1つ)

「訓練の実施は知っているが参加していない」の割合が32.6%と最も高く、次いで「都合があれば参加している」の割合が32.1%、「参加している」の割合が20.0%となっています。

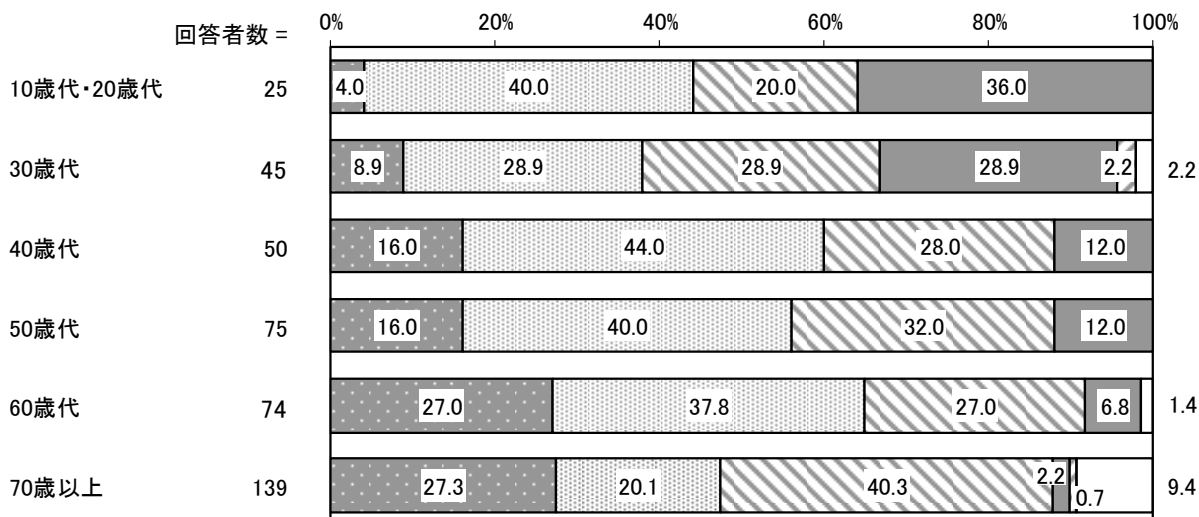
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「都合が合えば参加している」の割合が、70歳以上で「訓練の実施は知っているが参加していない」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代、30歳代で「訓練の実施を知らない」の割合が高くなっています。

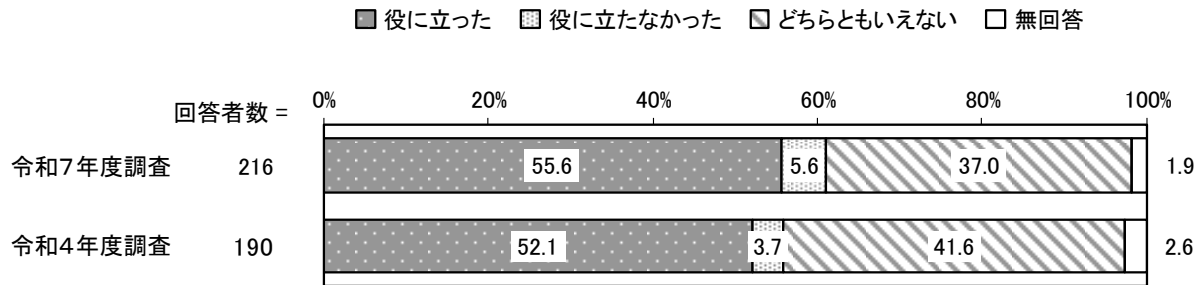


問34-1 地域の防災訓練等は役に立ちましたか。(○は1つ)

「役に立った」の割合が55.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が37.0%となっています。

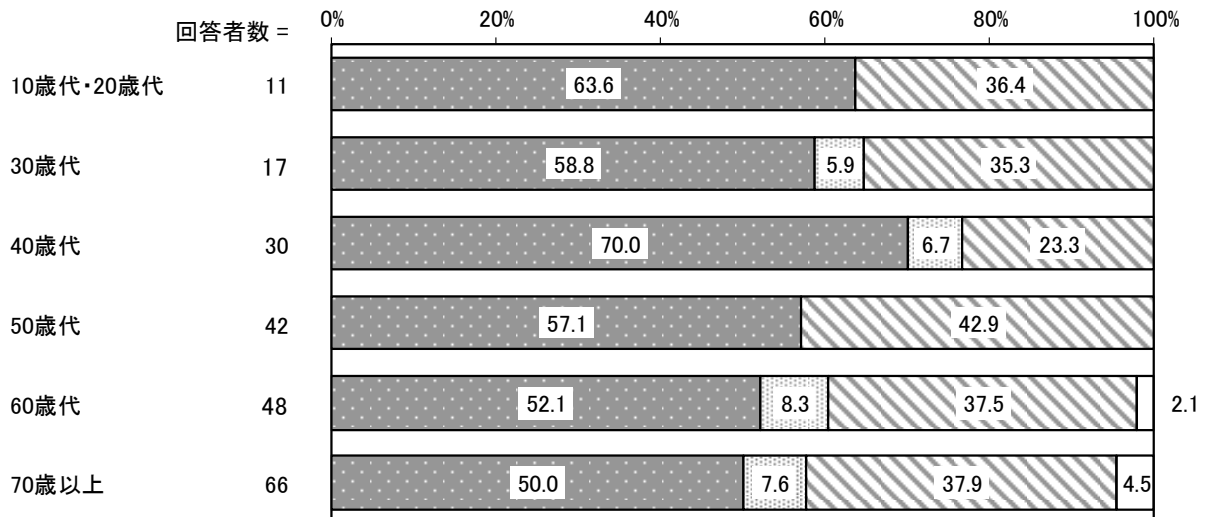
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「役に立った」の割合が、50歳代で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

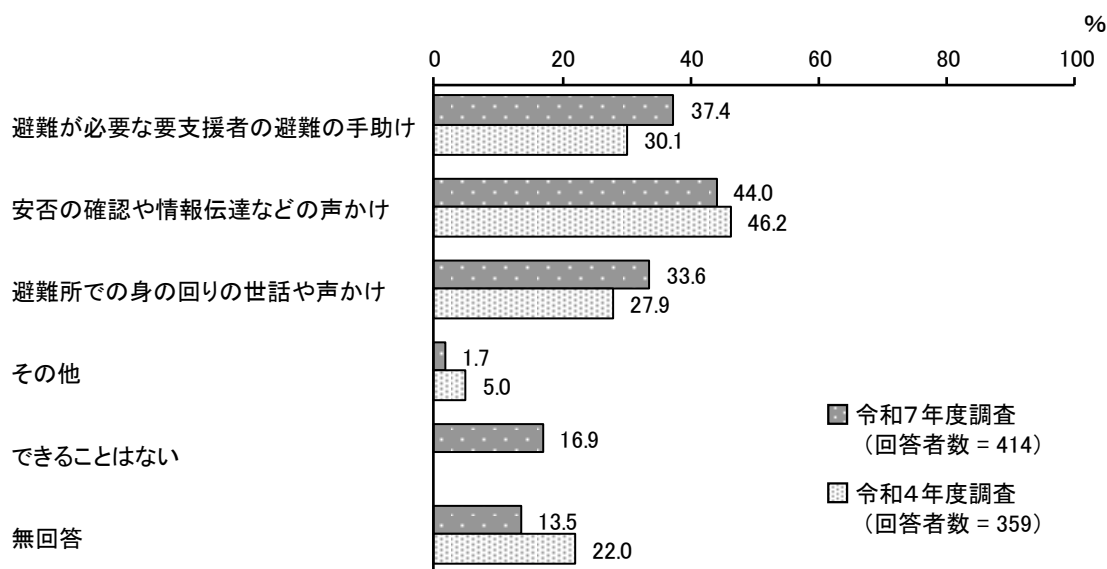


問35 あなたは発災時（後）における避難行動要支援者にどのような手助けや対応ができますか。（あてはまるものすべてに○）

「安否の確認や情報伝達などの声かけ」の割合が44.0%と最も高く、次いで「避難が必要な要支援者の避難の手助け」の割合が37.4%、「避難所での身の回りの世話や声かけ」の割合が33.6%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「避難が必要な要支援者の避難の手助け」「避難所での身の回りの世話や声かけ」の割合が増加しています。



※ 令和4年度の調査では、「できることはない」の選択肢はありませんでした。

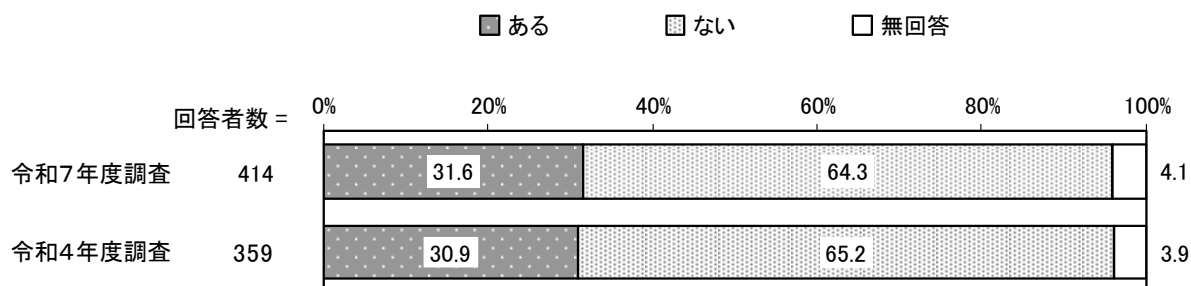
(6) 生活に困った時について

問36 あなたは、生活に困ったことはありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が31.6%、「ない」の割合が64.3%となっています。

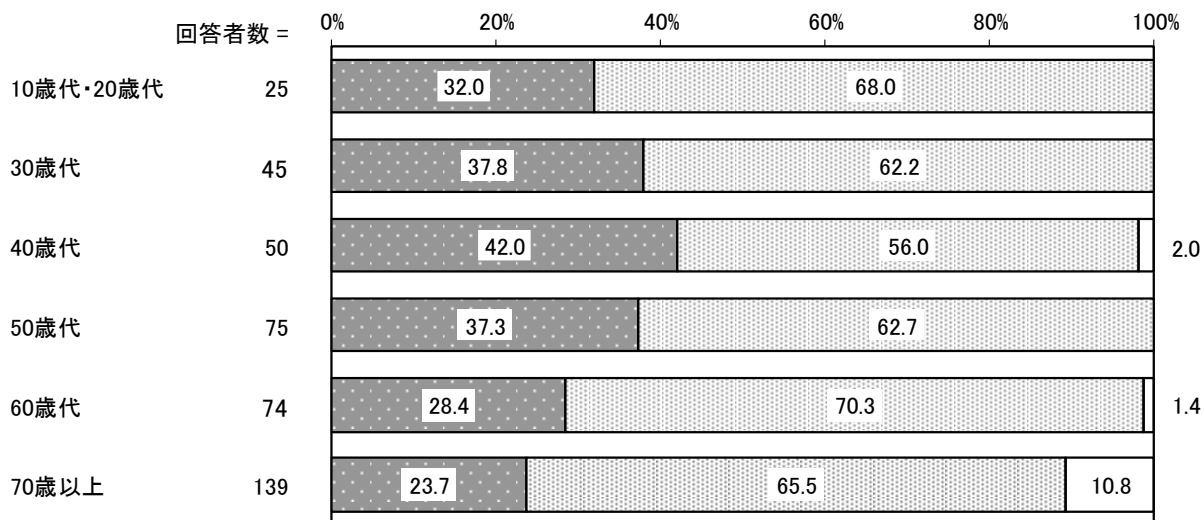
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「ある」の割合が、60歳代で「ない」の割合が高くなっています。

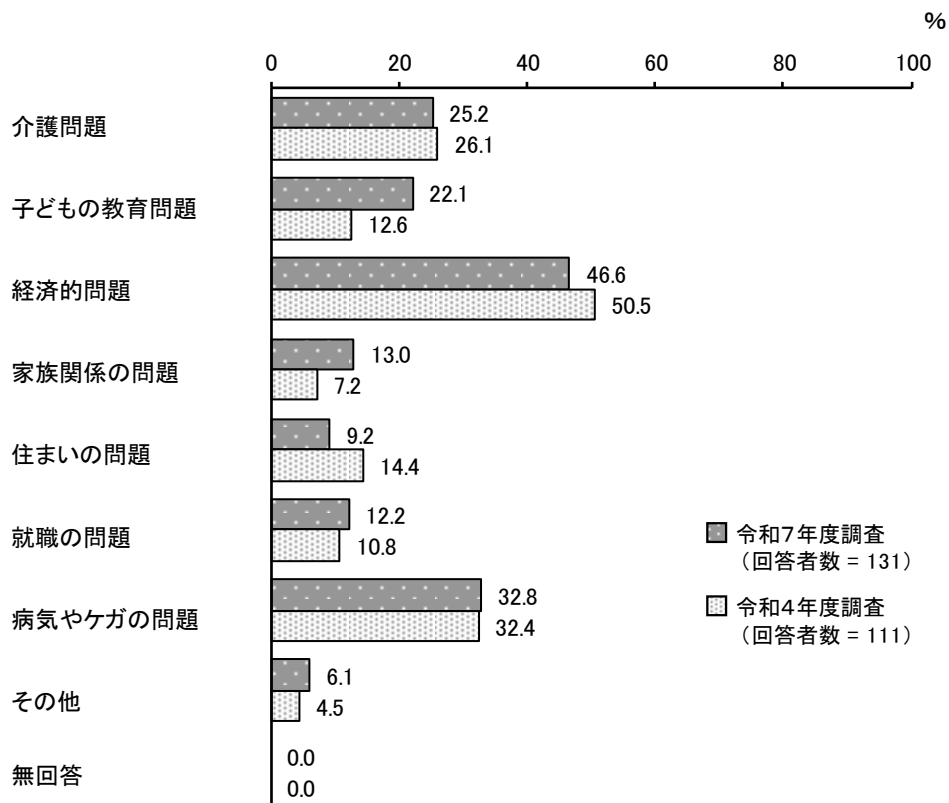


問36-1 その原因について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「経済的問題」の割合が46.6%と最も高く、次いで「病気やケガの問題」の割合が32.8%、「介護問題」の割合が25.2%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「子どもの教育問題」「家族関係の問題」の割合が増加しています。一方、「住まいの問題」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「子どもの教育問題」「就職の問題」の割合が、10歳代・20歳代、30歳代で「経済的問題」の割合が高くなっています。また、40歳代で「家族関係の問題」の割合が高くなっています。

単位：％

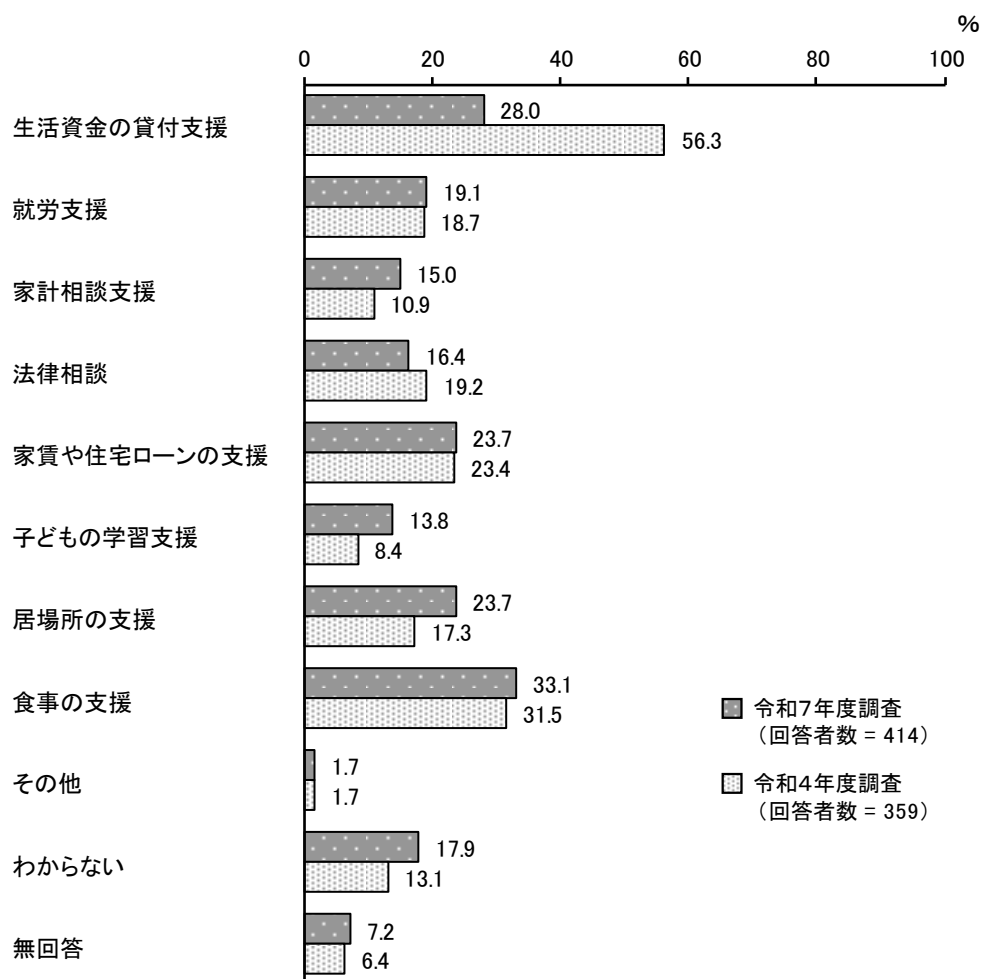
区分	回答者数 (件)	介護問題	子どもの 教育問題	経済的 問題	家族関係 の問題	住まい の問題	就職の 問題	病気や ケガの 問題	その他	無回答
10歳代・20歳代	8	—	25.0	62.5	—	—	—	25.0	37.5	—
30歳代	17	—	47.1	64.7	17.6	5.9	29.4	17.6	5.9	—
40歳代	21	9.5	33.3	52.4	28.6	9.5	14.3	9.5	4.8	—
50歳代	28	39.3	28.6	42.9	21.4	10.7	21.4	28.6	7.1	—
60歳代	21	38.1	19.0	47.6	9.5	9.5	4.8	52.4	—	—
70歳以上	33	33.3	—	33.3	—	9.1	3.0	48.5	3.0	—

問37 もし、あなたが生活に困った場合、町に行ってもらいたい支援内容はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

「食事の支援」の割合が33.1%と最も高く、次いで「生活資金の貸付支援」の割合が28.0%、「家賃や住宅ローンの支援」「居場所の支援」の割合が23.7%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「子どもの学習支援」「居場所の支援」の割合が増加しています。一方、「生活資金の貸付支援」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代で「生活資金の貸付支援」「食事の支援」の割合が、30歳代で「家計相談支援」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代、30歳代で「家賃や住宅ローンの支援」の割合が、60歳代で「居場所の支援」の割合が高くなっています。

単位：％

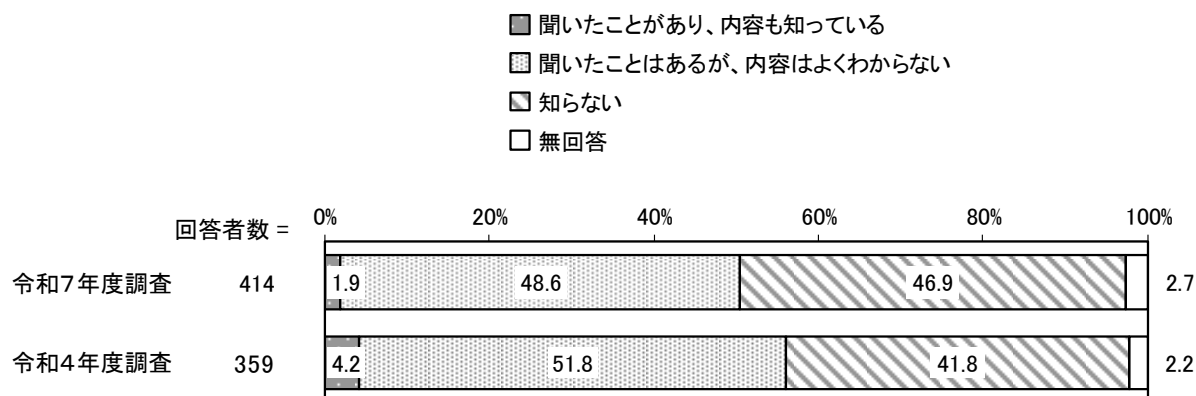
区分	回答者数 (件)	生活資金の貸付支援	就労支援	家計相談支援	法律相談	家賃や住宅ローンの支援	子どもの学習支援	居場所の支援	食事の支援	その他	わからない	無回答
10歳代・20歳代	25	52.0	36.0	12.0	16.0	60.0	24.0	20.0	48.0	—	16.0	8.0
30歳代	45	33.3	35.6	28.9	15.6	53.3	46.7	15.6	35.6	2.2	8.9	2.2
40歳代	50	28.0	34.0	14.0	20.0	30.0	32.0	12.0	24.0	4.0	18.0	—
50歳代	75	28.0	26.7	8.0	24.0	28.0	13.3	29.3	29.3	1.3	13.3	—
60歳代	74	36.5	16.2	14.9	20.3	16.2	4.1	36.5	39.2	1.4	13.5	4.1
70歳以上	139	17.3	2.9	15.8	9.4	7.2	0.7	21.6	31.7	1.4	25.9	16.5

問38 あなたは、生活困窮者自立支援法（制度）について、どの程度知っていますか。
（〇は1つ）

「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「知らない」の割合が46.9%となっています。

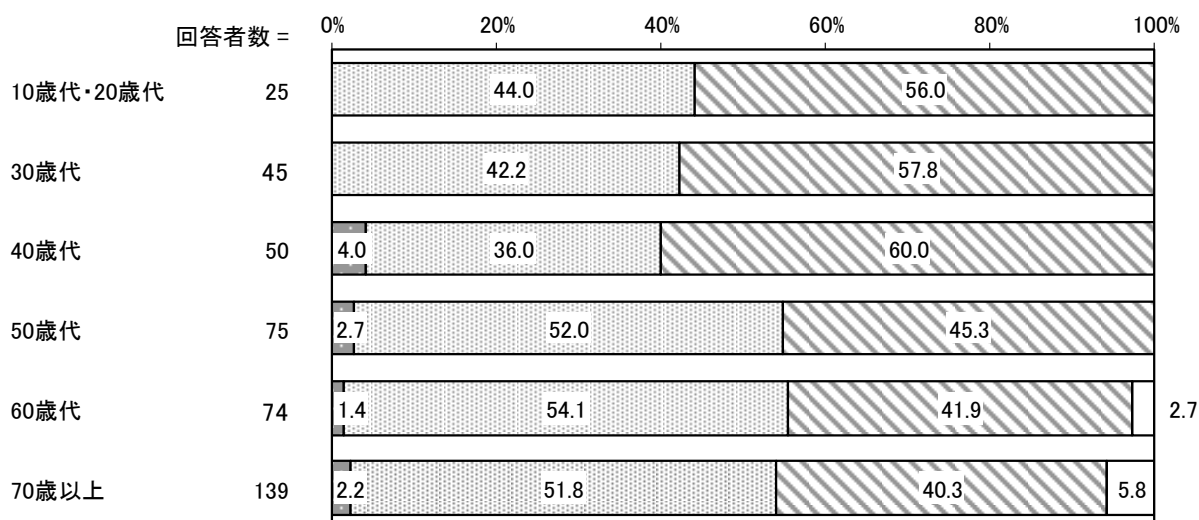
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代、70歳以上で「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」の割合が、10歳代・20歳代、30歳代、40歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

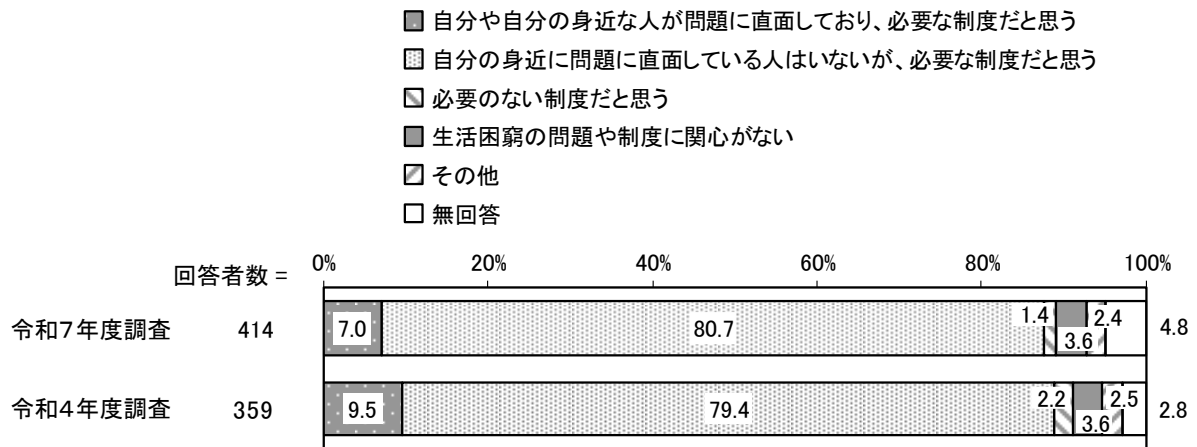


問39 あなたが思う生活困窮の問題や支援活動に対して、どのようにお考えなのか教えてください。（〇は1つ）

「自分の身近に問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う」の割合が80.7%と最も高くなっています。

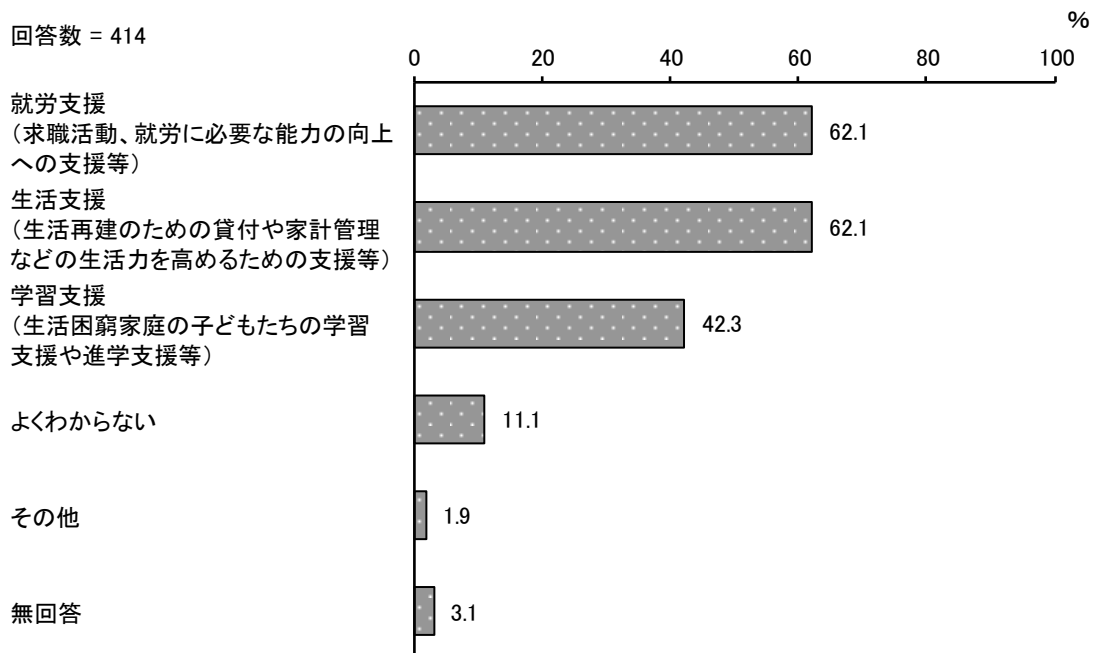
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



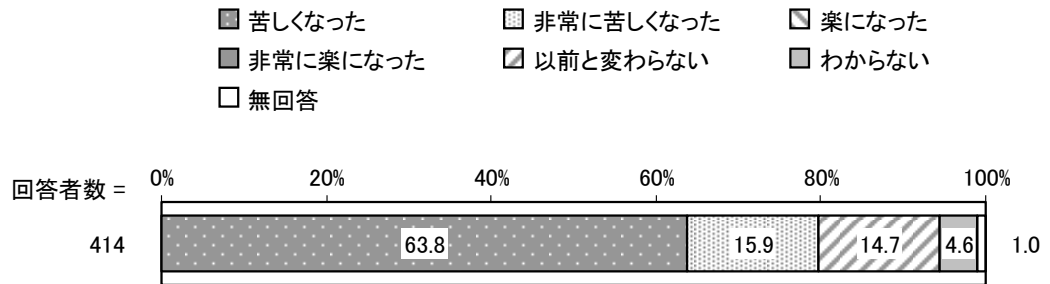
問40 あなたは、生活困窮に必要な支援として、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに〇）

「就労支援（求職活動、就労に必要な能力の向上への支援等）」「生活支援（生活再建のための貸付や家計管理などの生活力を高めるための支援等）」の割合が62.1%と最も高く、次いで「学習支援（生活困窮家庭の子どもたちの学習支援や進学支援等）」の割合が42.3%となっています。



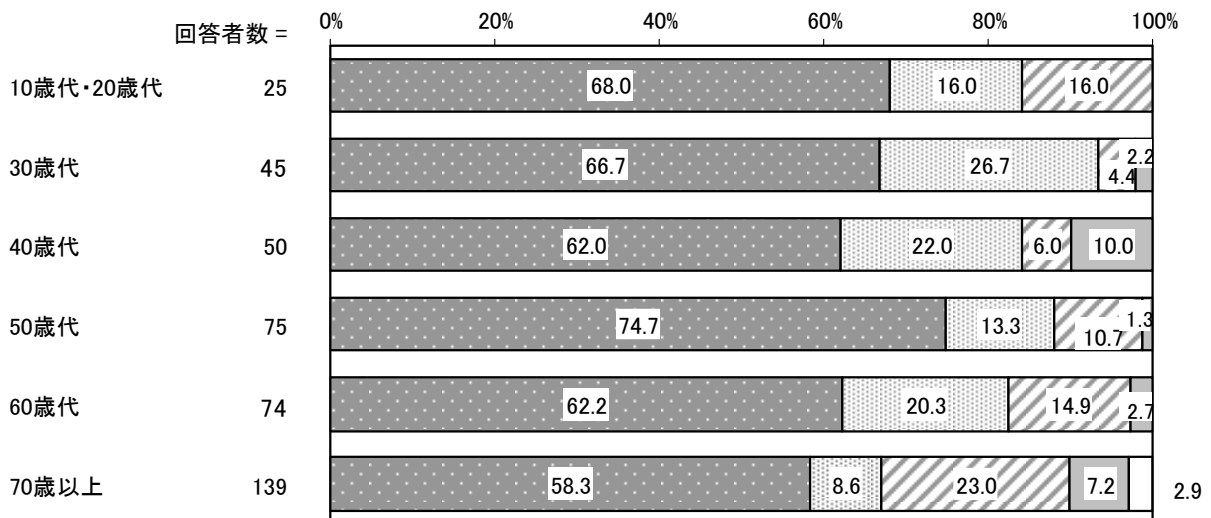
問41 最近の物価で、家計に対する影響はありますか。(〇は1つ)

「苦しくなった」の割合が63.8%と最も高く、次いで「非常に苦しくなった」の割合が15.9%、「以前と変わらない」の割合が14.7%となっています。



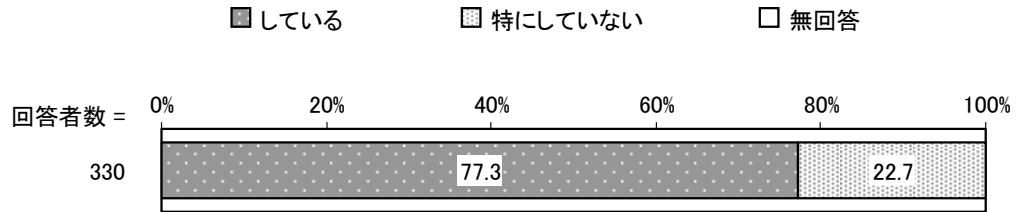
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「苦しくなった」の割合が、30歳代で「非常に苦しくなった」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「以前と変わらない」の割合が高くなっています。



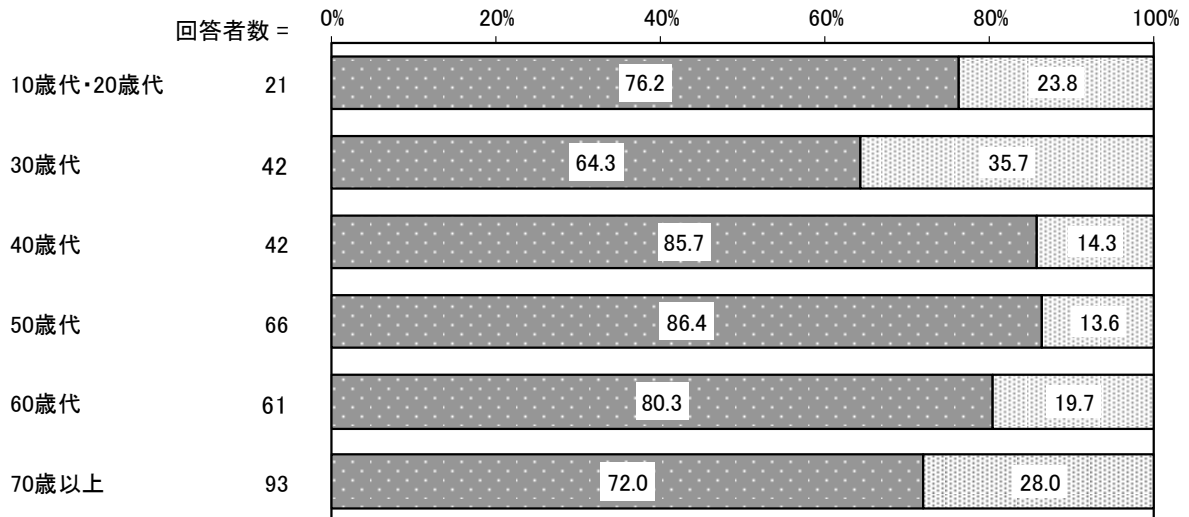
問41-1 家計で、あなたは物価上昇の対策を何かされていますか。(〇は1つ)

「している」の割合が77.3%、「特にしていない」の割合が22.7%となっています。



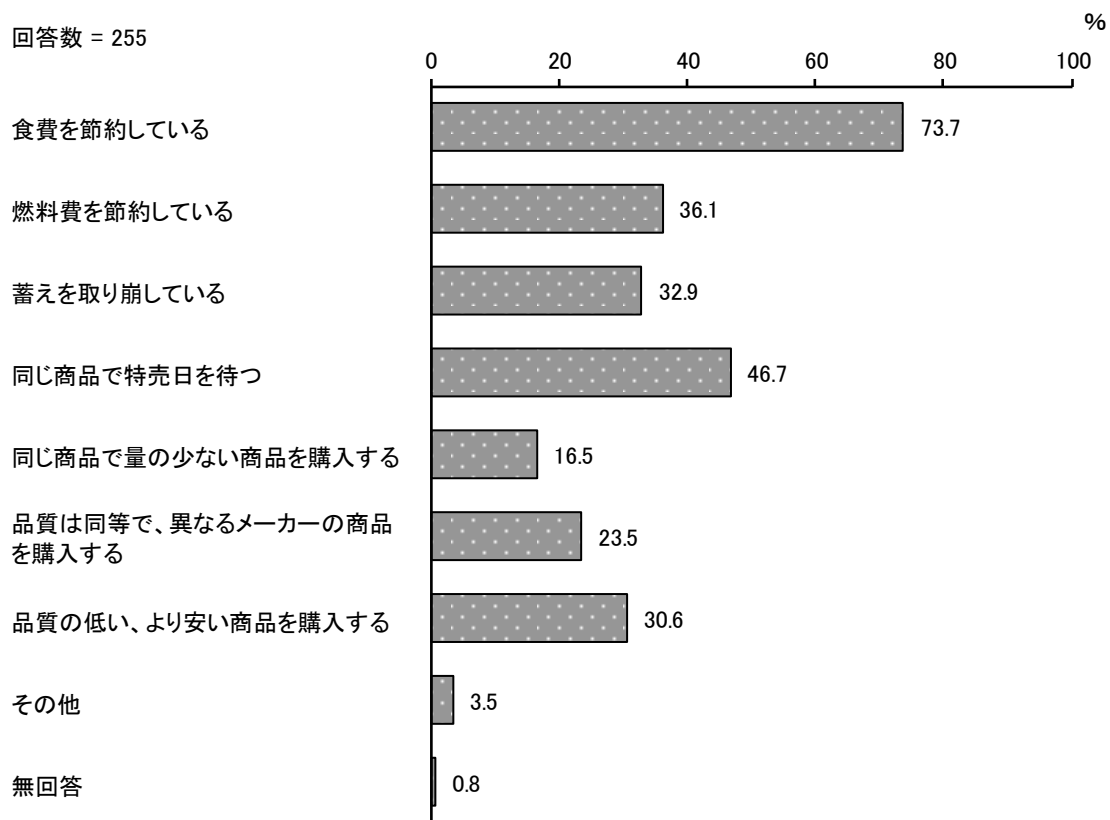
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「している」の割合が、30歳代で「特にしていない」の割合が高くなっています。



問41-2 あなたが行っている対策とはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

「食費を節約している」の割合が73.7%と最も高く、次いで「同じ商品で特売日を待つ」の割合が46.7%、「燃料費を節約している」の割合が36.1%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「同じ商品で特売日を待つ」「品質は同等で、異なるメーカーの商品を購入する」の割合が、70歳以上で「同じ商品で量の少ない商品を購入する」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代で「品質の低い、より安い商品を購入する」の割合が高くなっています。

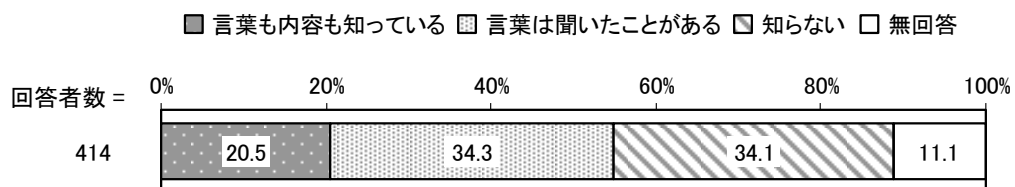
単位：％

区分	回答者数(件)	食費を節約している	燃料費を節約している	蓄えを取り崩している	同じ商品で特売日を待つ	同じ商品で量の少ない商品を購入する	品質は同等で、異なるメーカーの商品を購入する	品質の低い、より安い商品を購入する	その他	無回答
10歳代・20歳代	16	81.3	31.3	18.8	50.0	12.5	31.3	37.5	6.3	—
30歳代	27	81.5	14.8	37.0	59.3	14.8	37.0	33.3	3.7	—
40歳代	36	75.0	36.1	36.1	47.2	8.3	27.8	27.8	8.3	—
50歳代	57	64.9	38.6	21.1	43.9	15.8	24.6	29.8	5.3	—
60歳代	49	75.5	40.8	38.8	51.0	14.3	28.6	28.6	2.0	2.0
70歳以上	67	73.1	40.3	38.8	41.8	25.4	10.4	29.9	—	1.5

(7) 支援が必要な人について

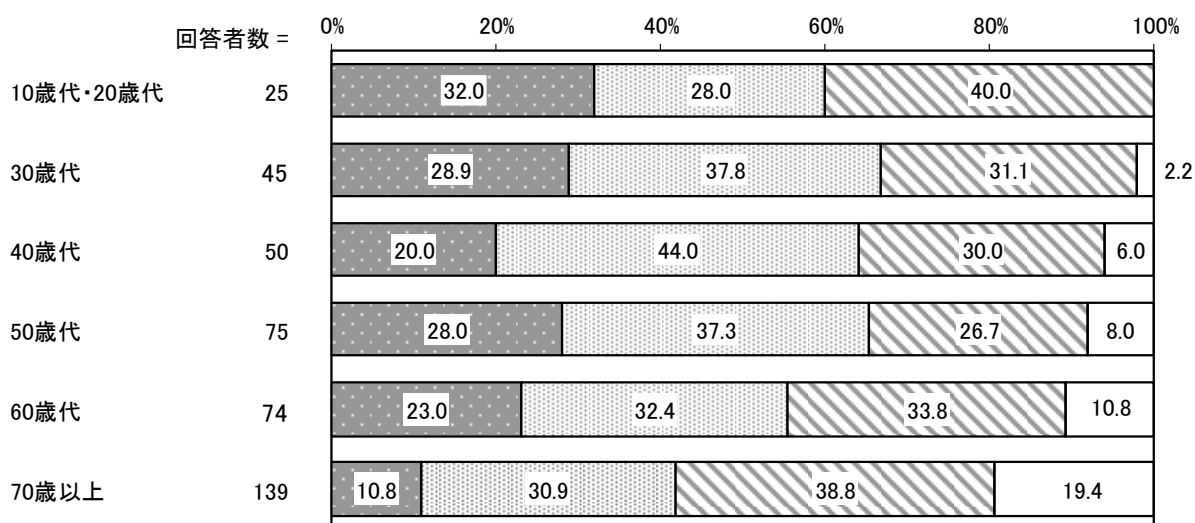
問42 あなたはワーキングケアラーという言葉を知っていますか。(〇は1つ)

「言葉は聞いたことがある」の割合が34.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が34.1%、「言葉も内容も知っている」の割合が20.5%となっています。



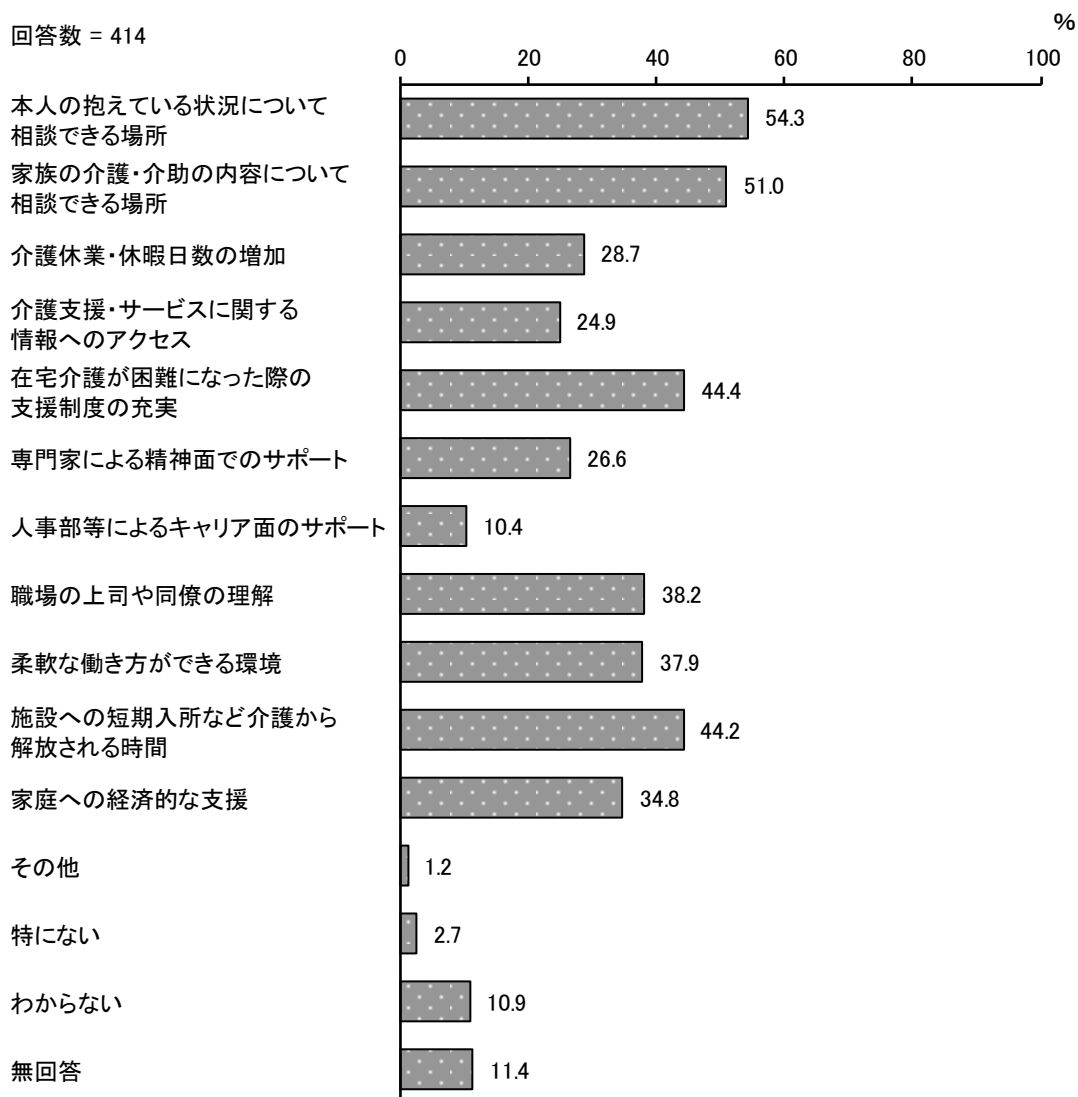
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代で「言葉も内容も知っている」の割合が、40歳代で「言葉は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



問43 ワーキングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「本人の抱えている状況について相談できる場所」の割合が54.3%と最も高く、次いで「家族の介護・介助の内容について相談できる場所」の割合が51.0%、「在宅介護が困難になった際の支援制度の充実」の割合が44.4%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代、60歳代で「本人の抱えている状況について相談できる場所」の割合が、40歳代で「介護休業・休暇日数の増加」「柔軟な働き方ができる環境」の割合が高くなっています。また、50歳代で「介護支援・サービスに関する情報へのアクセス」の割合が高くなっています。

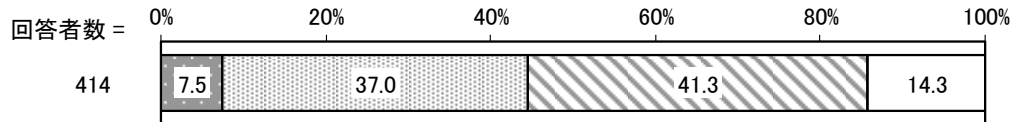
単位：%

区分	回答者数(件)	本人の抱えている状況について相談できる場所	家族の介護・介助の内容について相談できる場所	介護休業・休暇日数の増加	介護支援・サービスに関する情報へのアクセス	在宅介護が困難になった際の支援制度の充実	専門家による精神面でのサポート	人事部等によるキャリア面のサポート	職場の上司や同僚の理解	柔軟な働き方ができる環境	施設への短期入所など介護から解放される時間	家庭への経済的な支援	その他	特になし	わからない	無回答
10歳代・20歳代	25	68.0	36.0	44.0	28.0	44.0	44.0	16.0	60.0	48.0	52.0	48.0	4.0	—	12.0	—
30歳代	45	62.2	53.3	35.6	26.7	37.8	37.8	22.2	46.7	48.9	42.2	46.7	2.2	2.2	13.3	4.4
40歳代	50	58.0	60.0	48.0	20.0	50.0	24.0	8.0	58.0	56.0	54.0	46.0	2.0	2.0	6.0	8.0
50歳代	75	57.3	60.0	26.7	36.0	48.0	30.7	14.7	45.3	40.0	52.0	34.7	1.3	4.0	5.3	9.3
60歳代	74	66.2	54.1	24.3	24.3	51.4	39.2	9.5	39.2	41.9	47.3	32.4	—	—	8.1	9.5
70歳以上	139	40.3	43.2	20.1	18.7	40.3	11.5	4.3	20.1	23.0	34.5	27.3	0.7	4.3	15.1	18.7

問44 あなたは「地域共生社会」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

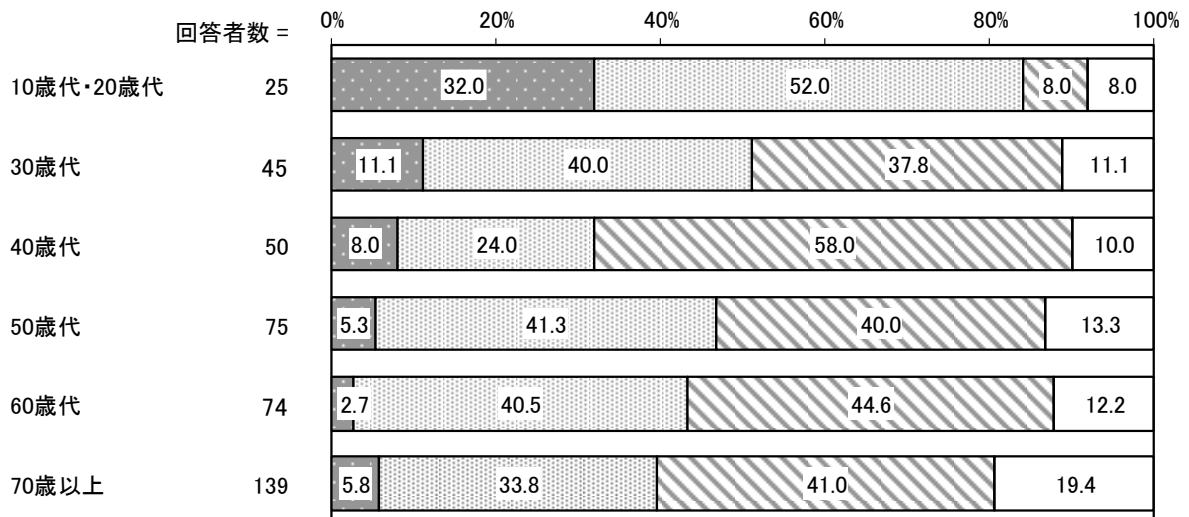
「知らない」の割合が41.3%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が37.0%となっています。

■ 言葉も内容も知っている □ 言葉は聞いたことがある ▨ 知らない □ 無回答



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代で「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがある」の割合が、40歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



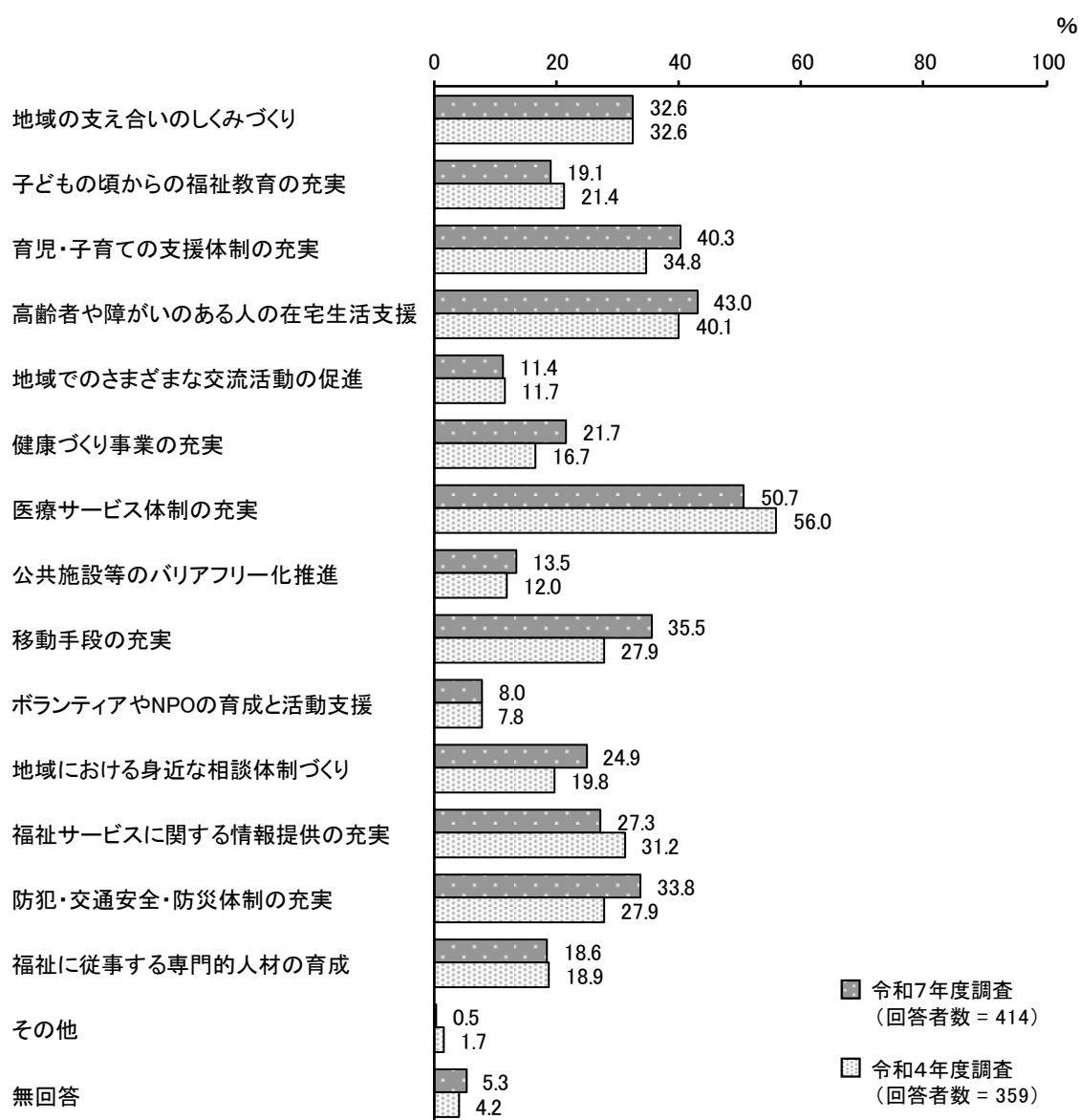
(8) これからの清水町の福祉について

問45 あなたが重要と考える保健福祉施策は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「医療サービス体制の充実」の割合が50.7%と最も高く、次いで「高齢者や障がいのある人の在宅生活支援」の割合が43.0%、「育児・子育ての支援体制の充実」の割合が40.3%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「育児・子育ての支援体制の充実」「健康づくり事業の充実」「移動手段の充実」「地域における身近な相談体制づくり」「防犯・交通安全・防災体制の充実」の割合が増加しています。一方、「医療サービス体制の充実」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「育児・子育ての支援体制の充実」の割合が、60歳代で「高齢者や障がいのある人の在宅生活支援」「地域における身近な相談体制づくり」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代で「医療サービス体制の充実」「公共施設等のバリアフリー化推進」の割合が、40歳代で「防犯・交通安全・防災体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

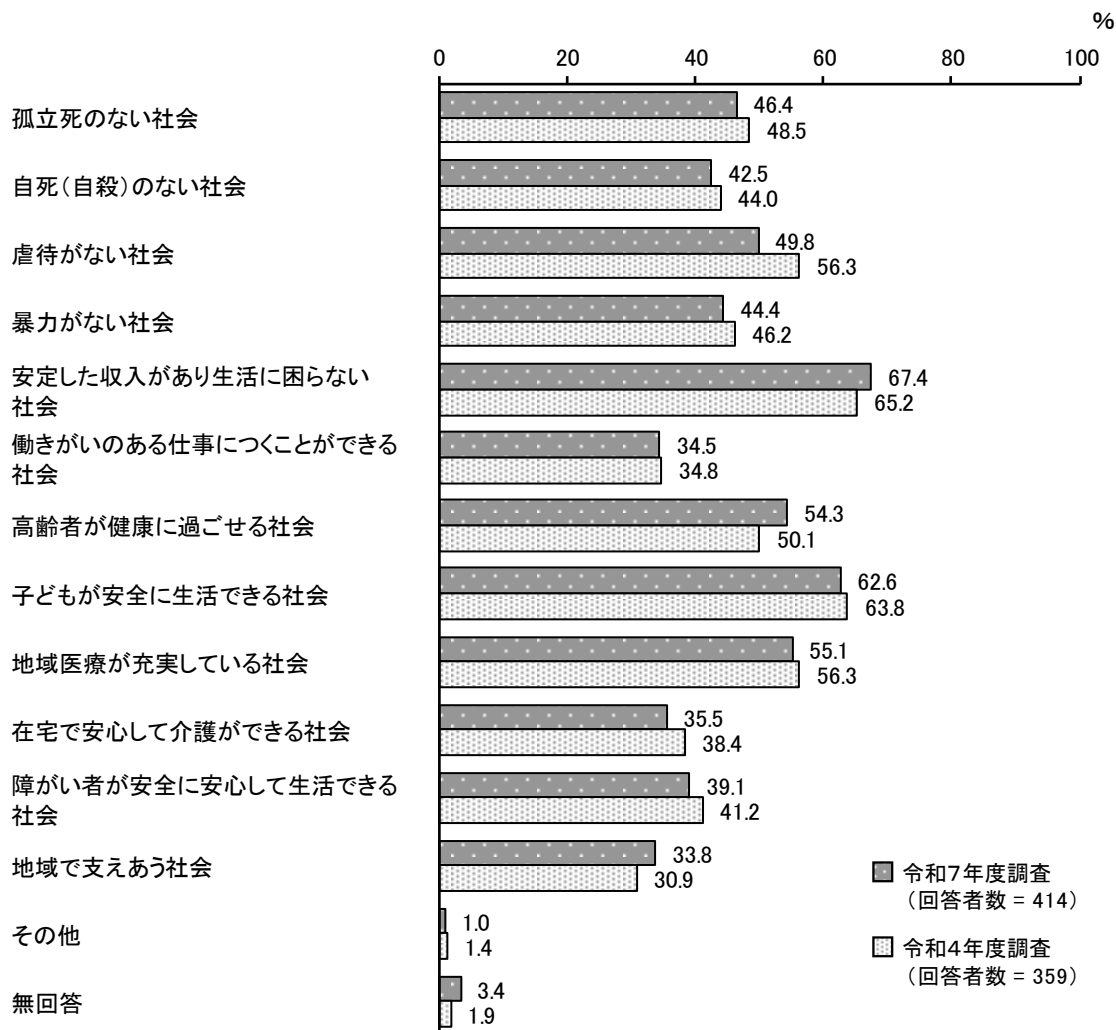
区分	回答者数(件)	地域の支え合いのしくみづくり	子どもの頃からの福祉教育の充実	育児・子育ての支援体制の充実	高齢者や障がいのある人の在宅生活支援	地域でのさまざまな交流活動の促進	健康づくり事業の充実	医療サービス体制の充実	公共施設等のバリアフリー化推進	移動手段の充実	ボランティアやNPOの育成と活動支援	地域における身近な相談体制づくり	福祉サービスに関する情報提供の充実	防犯・交通安全・防災体制の充実	福祉に従事する専門的人材の育成	その他	無回答
10歳代・20歳代	25	36.0	40.0	56.0	20.0	12.0	20.0	68.0	28.0	36.0	4.0	8.0	24.0	32.0	20.0	—	—
30歳代	45	40.0	31.1	75.6	33.3	13.3	22.2	46.7	6.7	31.1	11.1	26.7	22.2	44.4	13.3	—	2.2
40歳代	50	30.0	22.0	56.0	26.0	8.0	16.0	40.0	6.0	38.0	2.0	22.0	24.0	60.0	14.0	—	2.0
50歳代	75	30.7	21.3	40.0	37.3	13.3	20.0	60.0	16.0	36.0	6.7	22.7	30.7	40.0	21.3	1.3	4.0
60歳代	74	39.2	18.9	36.5	58.1	14.9	23.0	59.5	17.6	37.8	9.5	36.5	31.1	25.7	17.6	—	—
70歳以上	139	28.8	9.4	23.0	49.6	8.6	23.7	43.2	12.9	33.1	10.1	23.0	26.6	22.3	20.1	0.7	12.2

問46 今後、どのような社会になっていけばいいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「安定した収入があり生活に困らない社会」の割合が67.4%と最も高く、次いで「子どもが安全に生活できる社会」の割合が62.6%、「地域医療が充実している社会」の割合が55.1%となっています。

【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「虐待がない社会」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で「孤立死のない社会」の割合が、40歳代で「自死(自殺)のない社会」「暴力がない社会」の割合が高くなっています。また、30歳代で「虐待がない社会」「子どもが安全に生活できる社会」の割合が、10歳代・20歳代で「安定した収入があり生活に困らない社会」の割合が、60歳代、70歳以上で「高齢者が健康に過ごせる社会」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	孤立死のない社会	自死(自殺)のない社会	虐待がない社会	暴力がない社会	安定した収入があり生活に困らない社会	働きたいのある仕事にすることが できる社会	高齢者が健康に過ごせる社会	子どもが安全に生活できる社会	地域医療が充実している社会	在宅で安心して介護ができる社会	障がい者が安全に安心して生活 できる社会	地域で支えあう社会	その他	無回答
10歳代・20歳代	25	36.0	44.0	56.0	48.0	84.0	44.0	40.0	68.0	48.0	32.0	32.0	32.0	—	—
30歳代	45	40.0	33.3	64.4	42.2	71.1	40.0	33.3	84.4	46.7	24.4	22.2	28.9	—	2.2
40歳代	50	42.0	50.0	54.0	60.0	78.0	32.0	44.0	72.0	48.0	22.0	28.0	28.0	—	—
50歳代	75	48.0	45.3	57.3	56.0	76.0	36.0	49.3	72.0	61.3	32.0	49.3	34.7	1.3	2.7
60歳代	74	52.7	48.6	52.7	44.6	68.9	35.1	66.2	67.6	63.5	39.2	44.6	40.5	1.4	2.7
70歳以上	139	46.0	36.0	36.0	33.1	55.4	30.2	64.0	43.9	54.0	43.9	41.7	33.1	1.4	6.5